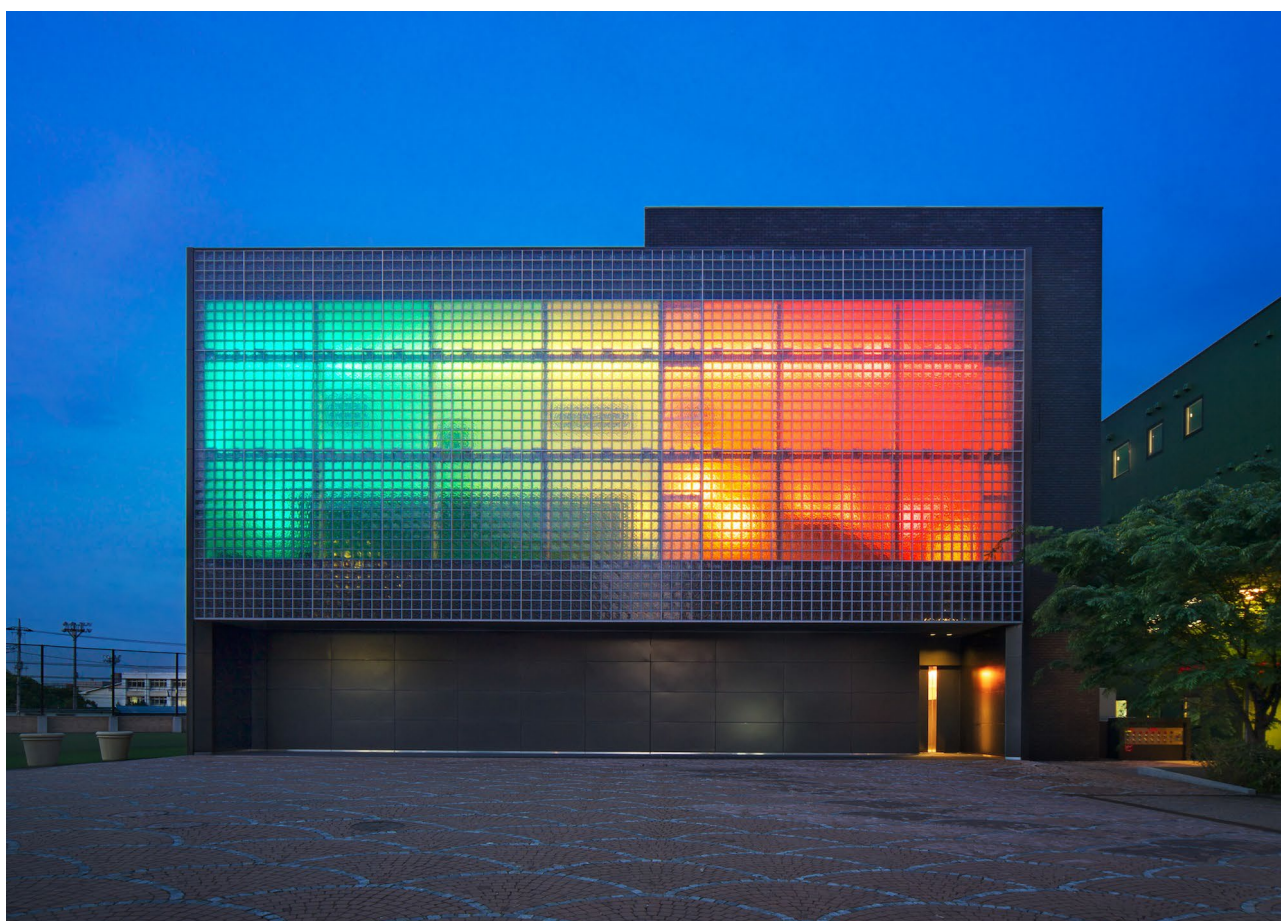


2021 年度 FD 活動報告書



洗足学園音楽大学

目次

FD 委員会/大学院 FD 委員会の記録	3
FD 研修会	5
各コースの FD 活動の記録	7
シラバスチェック	14
学修行動調査	18
授業に関するアンケート	19
卒業・修了時満足度調査	21
FD 委員会規程	24
大学院 FD 委員会規程	25
資料 1 : FD 研修会 (チラシ)	26
資料 2 : 学修行動調査結果	27
資料 3 : 授業に関するアンケート結果	39
資料 4 : 卒業時満足度調査結果	51
資料 5 : 修了時満足度調査結果	56

FD 委員会/大学院 FD 委員会の記録

2021 年度の FD 委員会と大学院 FD 委員会は、音楽学部と音楽研究科の一体的な教育改善を図る為、一部の会議を合同で実施した。

【学部第 1 回・大学院第 1 回】 2021 年 5 月 20 日（木） 11 : 00～12 : 00

報告事項 : ①年間スケジュール

②2020 年度卒業時満足度調査・修了時満足度調査結果報告

③2020 年度授業に関するアンケート結果報告

④2021 年度 FD 研修会

⑤学外 FD 情報

審議事項 : ①2021 年度授業に関するアンケート実施要領

【大学院第 2 回】 2021 年 6 月 17 日（木） 9 : 45～10 : 30

報告事項 : ①大学基準協会 他大学への改善指摘事項

②大学院 FD 活動の必要要件

③本学大学院固有の FD 活動（案）について

審議事項 : ①報告事項を受けて

【学部第 2 回・大学院第 3 回】第 2 回 2021 年 7 月 8 日（木） 11 : 00～12 : 00

報告事項 : ①2021 年度 楽典実力試験、ソルフェージュ試験結果報告

②2021 年度 開講科目対象シラバスチェック結果報告

③2021 年度 FD 研修会結果報告

④学外 FD 情報

審議事項 : ①委員会 PDCA

【大学院第 4 回】 2021 年 9 月 2 日（木） 9 : 30～10 : 00

審議事項 : ①2021 年度大学院 FD 研修会

【学部第 3 回・大学院第 5 回】 2021 年 10 月 8 日（木） 11 : 00～12 : 00

報告事項 : ①2020 年度 学修行動調査結果

②退学率と休学率

③2021 年度大学院 FD 研修会報告

④学外 FD 情報

審議事項 : ①FD 実施に関する方針

②2021 年度 学修行動調査実施要領

③2021 年度卒業時・修了時満足度調査実施要領

【学部第 4 回・大学院第 6 回】 2021 年 12 月 2 日（木） 11 : 00 ~ 12 : 00

審議事項：①2021 年度前期授業に関するアンケート集計結果

②2021 年度シラバスチェック実施要領について

報告事項：①学外 FD 情報

②2020 年度 FD 活動報告書

ワークショップ：シラバスチェックをワークショップ形式で実施



FD 研修会

【研修期間】2021年6月3日（木）～6月11日（金）

【講演テーマ】内部質保証を学習成果につなげる道標

【講師】大森 不二雄 氏（東北大学教授）

【講演内容】

教育の内部質保証は、本来、学生の学習成果を向上させ、大学教育が使命を果たすための営みそのものである。その最重要の主体は、授業や学習支援等を担う教職員一人一人であり、その共同体としての大学である。しかし、現実には、上からの評価に対応する業務負担として捉えられている面は否めない。本研修は、大学教育の改善や学習成果の向上等のインパクトに繋がる「内部質保証」について学びます。

【備考】東北大学高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センターが提供する、専門性開発プログラム（Professional Development Program; PDP）を利用した研修会となる。

【受講者数】

対象者数	受講者数	受講率
69名	59名	85.5%

【受講者アンケートより】

設問 1 今回の研修に参加して、良かったと思いますか。

とても良かった	14人	23.7%
良かった	39人	66.1%
あまり良くなかった	6人	10.2%
良くなかった	0人	0%

設問 2 研修内容について理解することができましたか。

理解できた	32人	54.2%
どちらかといえば理解できた	23人	39.0%
どちらかといえば理解できなかった	4人	6.8%
理解できなかった	0人	0%

設問 3 今後、取り上げてほしいテーマがありましたら、お書きください。

- ・カリキュラムの構成のポイント|例:〇〇実習 1→2、3、4と進級展開する場合の能力評価方法など。
- ・「ネガティブチェックのみに陥らない自己点検評価の在り方」についての座談会などを実現できたら、是非拝見したいです。
- ・一般大学のあり方としては興味深い内容でした。ただ、やはり芸術系の大学と世界が違う部分が多くありますので、以前東京音大の先生をお呼びしての研究会のような内容の研究会があると嬉しいです。

- ・芸術大学に特化した講義などがあれば、聞いてみたい。
- ・芸術系の大学に特化したものがあれば、取り上げてほしい。

設問 4 ご意見・ご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・「内部質保証」という言葉の意味が、かなり明確に認識できるようになったことは、良かったと思います。
- ・「内部質保証」観と学生の「学習」観について大変勉強になった。確かに近年学生の目標達成の手段としては、効率的・打算的な合理的という考え方が多いと感じる。
- ・最後のチャプターの部分については、もっと詳しい話を聞きたい。
- ・実技関係のみに関わっている者と、これも以前のように教育実習など教職関係についてテーマにした研修会を開いて欲しいです。
- ・どのように、学生の学習と大学の内部質保証を結び付けるか、難しいと思いました。教員のイノベーションの意識の大切さを感じました
- ・認証評価のためではなく、内部質保証と学生の学習成果を結びつける為には、様々な学生の能力、立場に立って考え工夫することが必要だと改めて感じました。
- ・内部質保証を担保するためのシステムが、大学全体組織レベルに留まらずに、最終的に学習成果に帰着できているかが重要な点だと思いました。
- ・先生方は参加できるのはとてもよいです。
- ・最後まで聞きたい講義もあり、途中で切れてしまうので残念でした。
- ・内部質保証という言葉が具体的にどういうことなのか、わかりやすかった。特に、教育力の高い大学には、その大学ならではの「ストーリーが語れること」が重要である、という点が印象に残った。
- ・「学生も自分も、さらに研究への向上心も大切ですが|向上心だけでなく新しく改革する意識も持って大学生活をおくりたい。」と感じさせられました
- ・学生の学習能力について考える良いきっかけになりました。ありがとうございました。
- ・大学、学生、共に合理性を意識しているという内容に耳が痛かったです。
- ・大森氏の提言として、そういうものだ、という理解はできますが、自身の実務を照らし合わせ、どう生きてくのか想像できなかったです。しかし、こういう議論があるということが知れたことは、良い経験になりました。
- ・内部質保証は評価ではなく、学生にとっての質が重要であること、わかっているようでしたが改めて実感いたしました。良い機会をいただきありがとうございました。
- ・今回も大変勉強になりました。
- ・オンラインによる研修は、受講者側の時間的な制約が少なく、有効であると思います。

各コースの FD 活動の記録

報告月	コース	活動内容
4月	管楽器	3月2日 APと各楽器学生新代表第1回 Meet 会議を開催し、新年度に向けエチュードステーションの利用方法等について、話し合いを行った。
4月	ジャズ	2021,3,29(月) AP,副 AP&AA 会議を実施。新入生のアドバイジングやその他新年度についての打ち合わせを行いました。
4月	現代邦楽	2020年度の総括や2021年度に向けての共通認識構築のためのオンライン部会を3月22日(月)夜、3月23日(火) 昼・夜の3回にわたって行った。
4月	管楽器	第1回コース部会開催 (4月22日) <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度前期実技試験の実施について、引き続きコロナ関係に対応する旨を確認した。 ・APと各楽器学生新代表第1回 Meet 会議を開催した内容を、部会教員と共有。 ・コロナ禍で中断している、当コース伝統の新入生歓迎会開催について議論した。
5月	打楽器	学生が4年間を通して基礎力のベースアップをはかれるよう、前期実技試験の内容を協議しました。 AAからの指摘を元にAPを中心に教員間で、学生本位の環境向上に努めるよう認識を新たにしました。
5月	ジャズ	AP,副 AP&AAのグループLINEを作り、毎日のように情報交換をしています。新入生の履修登録やその他の問題点、在学生の詳細な情報を必要に応じて共有し、各学生の学習環境や状況をより良くする方向での話し合いを密に行っています。
5月	現代邦楽	2021年度開幕後半月を経た時点での状況確認・情報共有・今後の指導についての検討、等を行うべく、4月末から5月初旬にかけて、現代邦楽コース関係教員オンラインミーティングを断続的に行った。
5月	ミュージカル	2021年4月21日(水)教員会議：シーンスタディ・アンサンブル実習のオーディション内容について協議した。
5月	音楽環境創造	照明ワーキンググループ会議が4/27(火曜日)に開催。照明に関する教育ロードマップなどを策定。
6月	管楽器	第2回コース部会開催 (5月20日) <ul style="list-style-type: none"> ・本番における学内抗原検査の義務化について、学生と教員に理解の上実施するよう、説明した。

		・無観客や関係者のみの成果発表会に於いて、生配信が重要な働きとなる環境で、ステージマナーについて意見交換を行った。
6月	打楽器	コース内における練習室の使用状況について調査をし、大学院特別研究生と現学生との使用環境のバランスを計れるよう協議しました。今後も学生の練習環境向上を計れるよう協議を重ねていきます。
6月	ジャズ	2021/5/11（火）クラスミーティングの内容や進め方について AP/副 AP/AA のグループ LINE 上の会議にて話し合いを行いました。 2021/5/21（金）各 AA の担当する学生の問題等について共有するための話し合いをグループ LINE にて行いました。
6月	声楽	5/17(月) AAAP 会議 19:30～ GoogleMeet によるオンライン授業の受け方についての注意喚起、特別選抜生披露演奏会について、クラスミーティングでの共有事項
6月	ミュージカル	2021年5月10日(月) 3年生担当教員会議：ZOOM ミーティングにてシーンスタディ・アンサンブル実習の授業内容について協議した。
6月	ワールドミュージック	4月12日（月）、19日（月）、26日（月）、5月10日（月）ワールドミュージック概論の授業が今年度は1～3年までの同時開講となるため、学生の様子や授業の方法などについて各回の授業担当者と意見交換を行う。 4月13日（火）、20日（火）、27日（火）、5月11日（火）今年度より開始する卒業研究の授業について、学生の様子や授業の方法などについて各回の授業担当者と意見交換を行う。
7月	打楽器	部屋の使用環境について学生からの意見を教員で共有し、引き続き協議していくことになりました。
7月	ジャズ	2021/6/16（水）、6/21（月）、6/22（火）、6/23（水）、6/25（金）各 AA の担当する学生に関する諸案件、クラスミーティングの際に出た共有が必要な案件等について意見交換や確認を行い、今後のコース運営に関連する話し合いをインターネット上で行いました。
7月	現代邦楽	前期末成果発表演奏会〈和のいろは〉の開催に向けて、主に合奏実技指導における情報の共有や指導の充実に向けて、教員間の相互連絡や情報共有を推進した。
7月	声楽	6/8（火）声楽コース運営会議 カリキュラム改正について
7月	ワールドミュージック	2021年5月28日（金）7月に開催予定のコンサートについて、AP,AC 及び学生の代表者と話し合いを行う。この会議では、演奏会運営方法とプログラム構成などについて学生の積極的参加を促すきっかけともなり、また学生の視点を教員側も知る機会となっている。今後の学生コンサートの企画に活かしていく。

9月	作曲	7月29日(木)の作曲理論部総会において、「楽譜の書き方」を中心に講座を行った(講師:清水昭夫)。内容は、本学の入学試験や期末試験問題の作成に当たり、どのようなソフトウェアを使用して制作するか、またオンラインの聴音試験問題についてもどのような方法で録音、編集、そして公開をしているかを解説した。加えて、コンピューターによる浄書と手書きによる浄書について、浄書ソフトウェアの問題点を指摘し、それをどのように解決できるかを例示した。参加教員は36名(オンライン16名を含む)。
9月	管楽器	第4回コース部会開催(7月8日) ・海外音楽家によるオンラインレッスンについて、今年度もオンラインレッスンのみの開催であることを確認し、海外アーティストへの交渉を図る事を確認した。 各楽器代表学生とAPによる、第2回オンラインmeet会議の開催(7月29日) ・前期におけるコロナ対策問題点について話し合いをし、後期は更に新型コロナウイルス感染拡大予防に努め、後期の演奏会が無事開催出来るよう、 学生全体へ注意喚起をお願いした。
9月	打楽器	合奏系授業で複数名の教員が関わる場面での情報共有や共通認識を持つためにミーティングを行いました。 8月24日(火)に、より良い打楽器コース運営のために各学年のインスペクター、サブインスペクター、楽器係、および部屋係と専任教員でミーティングを持ち、意見交換を行いました。
9月	ジャズ	2021/7/17&21&26&8/6&23 AP&副 AP&AAによるコースの運営に関する話し合い、現状共有、確認作業をインターネット上の会議にて行いました。
9月	声楽	8/30(月)21:00~臨時声楽部門運営会議 後期授業開始に向けて話し合いました。
9月	音楽教育	7月15日(木)、1年生と4年生の修学アドバイジング(面談)の実施をふまえ、1年生と4年生の個々の学生の現況と今後の学修について、APとAAが検討会を行った。
9月	ワールドミュージック	2021年7月29日(木)前期実技試験にあたり、実技レッスン担当者5名でのミーティングを行う。学生のレッスン状況の報告がなされたのち、レッスンで取り組む基本練習(スケール、エチュード)についての意見交換および今後の方針について話し合いを行った。 2021年7月31日(土)WM概論担当者会議(担当教員5名WEB会議)前期の成績評価の決定をおこなった。また、半期を通

		しての各学生の授業へのモチベーション、演奏力等について率直な意見交換を行った。また、授業成果発表のコンサートに対する学生の取り組み状況も担当教員より報告がなされた。今後の授業方針の再確認がなされた。
9月	音楽環境創造	オンライン授業についての問題点、対面とオンライン併用の問題など、授業における学生対応全般について意見交換が行われた。
10月	管楽器	第5回コース部会開催（9月9日） ・前期試験進捗状況を報告し合い、問題点を共有した。 ・就活についてキャリアセンターのLINE登録を4年生に勧め、活用するよう教員に働きかけをお願いした。
10月	打楽器	8月24日に代表学生と専任教員でミーティングを持ち、練習室の現状や問題点について意見交換をしました。
10月	ジャズ	9/2, 9/6, 9/15, 9/22に連絡用SNSを使いコース運営について話し合いや報告、確認を行いました。
10月	声楽	9/22(水) カリキュラム改正について～コーラスアンサンブルクラスのあり方 9/28(火) カリキュラム改正 歌曲研究について
10月	音楽教育	10月4日(月)の18時より、音楽教育コース必修科目「音楽教育研究Ⅰ～Ⅳ」の担当教員4名が、次年度に向けて同科目のカリキュラムと授業運営についての検証をオンラインで行った。
10月	ワールドミュージック	9月21日卒業研究ルネサンス、バロック担当者と学生の現在の状況の情報交換、今後の授業内容についての検討を行った。 9月28日卒業研究南米音楽担当者と授業の方向性、最終授業回のミニコンサート形式の方法等についてについて協議。
10月	音楽環境創造	9月22日～9月27日の期間において、来年度スタートする授業に関して、各分野の先生方と意見交換を実施した。主に授業への取り組み方・環境の整備・到達度などについて共有した。
11月	管楽器	第6回コース部会開催（10月21日） ・本学公式snsを利用し、より学生の活躍を広めるよう担当教員より説明があった。 ・合奏授業欠席に関して報告があり、状況を共有し共通認識を確認した。
11月	打楽器	休みがちな学生への対応や情報を教員間で共有することを再確認しました。
11月	ジャズ	2021/10/15&16&19の三日間、AP/副AP/AAによるリモート会議を実施いたしました。クラスミーティングの件、学生の休学対応の件、新型コロナ対策の件等について話し合いました。

11月	ミュージカル	10月15日(金)・22日(金) バレエ・ダンス教員のミーティング開催
11月	ワールドミュージック	9月27日 WM 演奏論バロック担当者との授業内容の打ち合わせ。 10月25日 WM 卒業研究ルネサンスバロック担当者との授業内容の打ち合わせ。前回の授業を踏まえ授業方法の若干の変更を行うことにした。楽譜浄書ソフト finale の活用により、授業内容の幅が広がることが確認され、引き続き教員間で finale の使用方法の情報交換を行うことになった。 10月21日、25日、26日コースの学生との個人面談（希望者のみ）を行い、授業内容についての意見を聴取、その他学生生活全般の様子を把握した。
11月	音楽環境創造	10/18～10/29 にかけて、主科2に関する現状報告及び今後のコース内における主科2のあり方について、各講師から個別に意見を伺った。今後のコース運営に活かしていく方向。
12月	管楽器	第7回コース部会開催（11月18日） ・海外音楽家によるマスタークラス開催進捗状況を報告した。 ・レッスンと臨時練習のバッティングにおける優先順位について確認し、授業バッティング時の学生欠席の扱いについて共有した。
12月	打楽器	楽器室、AP、関係する教員でコース内の備品、及び楽器について現状を共有し備品購入や今後の整備方針についてミーティングを持ちました。
12月	ジャズ	2021/11/10、18の二日間、応用演奏会実習の手続きについて、レッスンを休みがちな学生への対応などについて、それぞれの受け持ちや適切な受付対応について確認、話し合いを AP/副 AP/AA のグループラインにて行いました。
12月	現代邦楽	2022年度の授業&レッスンを対面授業中心に戻していくための、教員間の情報共有や検討会を12月～1月に数回開催予定。
12月	声楽	11月25日（木）臨時声楽部門運営会議 学年末実技試験実施要項、2022年度授業方針によるシラバスの作成について、履修モデルの作成、2023年度カリキュラム改正について話し合いました。6名参加。
12月	音楽教育	11月18日、2年生と3年生の修学アドバイジング(面談)の実施をふまえ、2年生と3年生の個々の学生の現況と今後の学修について APとAAが検討を行った。
1月	打楽器	大学が保有する楽器の経年による劣化、破損が多く見られる現状を確認し、今後の具体策を協議しました。
1月	ジャズ	2021/12/8 学生対応についての確認、意見交換をオンライン上の会議で行いました。

		<p>2021/12/22 履修アドバイジングに関する重要事項の確認をオンライン上の会議で話し合いました。</p> <p>2021/12/28 学生対応についての意見交換をオンライン上の会議で行いました。</p>
1月	現代邦楽	2022年度の授業&レッスンを対面授業中心に戻していくための、教員間の情報共有や検討会を12月25日・26日・29日にオンラインで開催した。併せて、シラバス執筆に向けての検討も行なった。
1月	音楽教育	必修科目「アートマネジメント研究」の次年度における授業計画、授業運営について、APと担当教員がメールで意見交換を行い検討した。
1月	ワールドミュージック	11月20日(土) オンライン会議開催 WM演奏論、卒業研究担当教員6名 ①学生一人一人の授業への取り組み姿勢が報告、情報共有された。メンタル面が不安定な学生の対応方法についての活発な意見交換がなされ、各授業での方向性が見出された。②学期末の評価のための各課題の検証を行う。
2月	管楽器	<p>第8回コース部会開催(1月13日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AAと部会メンバーで履修モデルの確認を行い、承認された。 ・合奏授業欠席やバッティングについて、来年度も専用カレンダーを活用し、教員側がより注意して運営するよう認識した。
2月	打楽器	担当教員で次年度のシラバスの見直しと確認をしました。学内の演奏会などが集中する時期において、一時的ではあるが楽器が不足する状況があり、楽器室とAP教員間でそれらを補充するなどの対処をしました。
2月	ジャズ	<p>2022/1/6 AP&AAのLINEミーティングにおいて、クラスミーティングの内容、オミクロン株についての注意事項などについて確認、話し合いを行いました。</p> <p>2022/1/19 退学者についての確認等をLINEミーティングにて行いました。</p> <p>2022/1/20 アンサンブル/ラボの履修について学生に対する指導についての確認等をLINEミーティング上で行いました。</p> <p>2022/2/2 ジャズコース教員全員参加による「ジャズコース教員会議」。</p>
2月	音楽教育	1月12日(水)にAPとAAが、学年末における学生の出席状況と単位修得見込み数をチェックし、個別指導が必要な学生への今後の対応について検討した。
2月	音楽環境創造	1月28日(金) コース必修科目である音楽環境創造研究の研究ノート未提出者に対する対応について、AAの先生方と情報共有した。

		2月17日(木)コース部会会議開催予定(13:00～):来年度のコースカリキュラムの編成・方針に関する確認、運営に関する情報共有と意見交換を予定している。
3月	打楽器	学内保有のスタンドが特定のメーカーによるものであることの指摘を受け、今後は学生が多様なメーカーのものを扱えるチャンスを作っていくことを共有しました。
3月	ジャズ	2022/2/2 ジャズコース教員全体の会議「ジャズコース教員会議」を実施。2023年度より変更するコース名についての説明やそれに伴うカリキュラム改革等についての説明、授業やコースの問題点や意見、提案等について話し合いを行いました。 2022/2/2 AP&副 AP&AA ミーティングを実施。コースの現状や問題点などを共有し意見交換、確認等を行いました。
3月	声楽	2月24日(木) APAA 会議 2022年度入学式選抜合唱団メンバーの決定
3月	音楽教育	3月3日(木)に AP と AA が、新年度の履修登録を前にし、個別指導が必要な学生について対応した。
3月	ワールドミュージック	3月3日(木)に AP と AA が、新年度の履修登録を前にし、個別指導が必要な学生について対応した。

(教授会定例報告で報告された事項のみ記載)

シラバスチェック

1. 目的

FD 活動の一環として、シラバスの記載内容を確認し、今後の本学の授業内容及び方法の改善に役立てることを目的として実施します。

2. 対象科目

- ・学部・大学院の 2022 年度全開講科目（講義・レッスン）の全てを対象とします。
- ・兼任講師が担当する授業科目も対象とします。

3. シラバスチェック担当者

- ・大学院 FD 委員会委員、FD 委員会委員（授業担当者以外の第三者）

4. 実施の流れ

月日	項目
2/3（木）	担当シラバス配布（2月教授会にて）
2/3（木）～2/17（木）	シラバスチェック
～2/17（木）	チェックシート等の提出（スプレッドシート入力）
～シラバス公開日	シラバス変更期間（※授業方針に変更があった場合）
～シラバス公開日	科目担当者への修正依頼（事務局→科目担当者）
3/1（火）～3/31（木）	集計・分析
未定	結果報告（2021年度FD委員会）

5. チェック項目（次ページ）

6. チェック表の提出（スプレッドシート入力）、朱入りシラバス原稿の提出

- ・提出先：FD 委員会事務局
- ・提出締切日：2022 年 2 月 17 日（木）

7. フィードバック

- ・各教員及び教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会）は、授業改善のための資料として集計結果を活用するものとします。
- ・チェック内容の結果は、必要に応じて、担当教員に提示します。
- ・チェック内容の赤字項目（重点項目）の結果は、授業担当教員に提示し「シラバス改善報告書」を提出の上、2022 年度授業開始前までに内容を修正していただきます。

《チェック項目》

項目	点検内容
到達目標	① 学習の到達目標が具体的に示されているか。
	② 学習の到達目標が現実的なものであるか。
	③ 学習の到達目標が測定可能なものであるか。
	④ 学生を主体として、わかりやすく書かれているか。
授業時間外の学習 (予習・復習)	① 授業時間外学習の内容や方法が示されているか。
	② 授業時間外学習に必要な時間の目安は示されているか。
成績評価の方法 および基準	① 授業の到達目標や授業の内容を踏まえ、評価方法及びその割合が示されているか。
	② 評価基準は明示されているか。
	③ 「出席点や出席状況で〇〇%」という記載をしていないか。授業は出席するのが当然なので、出席のみで評価がされるような記載は認められません。
テキスト・参考文献	① 「テキスト・教科書」と「参考文献（参考資料・参考書）」のどちらかは具体的に明示されているか。
授業計画	① 授業で取り上げる項目や重要な概念は明示されているか。
	② 半期 15 回分（または通年 30 回分）の授業内容やその相互の関連が示されているか。
	③ 「試験」を授業回数に含んでいないか。「試験」だけでは授業とは認められないので、「試験とまとめ」のように授業を行っていることがわかるような記述が必要となります。
評価結果	特に改善が必要と思われるものに関しては、改善を依頼するコメントを記入してください。特に、修正を要するコメントの付いたものは、事務局より、個別に担当教員に連絡いたします。

2022 年度開講科目シラバスチェック 主な指摘事項 (集計)

項目	NO	点検内容	主な指摘事項	2020	2021	2022			
到達目標	①	学習の到達目標が具体的に示されているか。	・具体的な記述が必要	35	52	44			
	②	学習の到達目標が現実的なものであるか。	・わかりやすい表現の為に工夫が必要						
	③	学習の到達目標が測定可能なものであるか。							
	④	学生を主体としてわかりやすく書かれているか。							
授業概要	①	初学者にとってわかりやすく、具体的な記述がなされているか	・具体的な記述が必要	12	3	0			
授業時間外の学習	①	授業外学習の内容や方法が示されているか。	・具体的な方法、指針の記述が必要 ・具体的な予習復習の方法を提示する	96	144	193			
成績評価の方法及び基準	①	授業の到達目標や授業の内容を踏まえ、評価方法及びその割合が示されているか。	・それぞれの評価方法が全体の何%なのかを示す	58	137	39			
	②	評価基準は明示されているか。	・「平常点」と「授業への参加姿勢・授業態度」の違いが不明						28
	③	「出席点や出席状況で〇〇%」という記載をしないか。授業は出席するのが当然なので、出席のみで評価がされるような記載は認められません。	・出席により評価されるような記載は認められない ・「出席点、出席状況」といった出席に関する内容は記載しない				0	15	10
授業計画	①	授業で取り上げる項目や重要な概念は明示されているか。	・相互の関連性が必要 ・記述内容を明確にすること	33	53	20			
	②	半期15回分（または通年30回分）の授業内容やその相互の関連が示されているか。	・同様のテーマを取り扱う場合であっても、数字のみで区別するのではなく、回数ごとに扱うテーマのキーワードを記載し、各回の学習内容の違いを明確にする（数字での区別・後期での内容省略）	34	36	11			
	③	「試験」を授業回数に含んでいないか。 「試験」だけでは授業とは認められないので、「試験とまとめ」のように授業を行っていることがわかるような記述が必要となります。	・「試験」が回数に含まれている	0	1	11			
テキスト・参考文献	①	「テキスト・教科書」と「参考資料（参考文献）」の両方が「なし」は認められません。（文部科学省からの新規通達、2017年度より）	・テキスト・教科書・参考文献に関しては、いずれかの項目に資料名を記載する	72	133	170			
履修条件			・記述表現への指摘 等	72	11				
合計				412	585	526			

2022 年度開講科目シラバスチェック 主な指摘事項

【1】今回の結果について

・シラバスチェックの結果、526 件の指摘事項（前年度比-59 件）をいただいた。

重点項目における指摘件数は前年度より減少しており、科目担当教員の改善意識が高まっていることがうかがえる。

・指摘が増加したのは、『授業時間外の学習』と『テキスト・参考文献』である。これについては、シラバスワークショップでも取り上げた内容であり、シラバスチェック者がより高度な視点でチェックを行った結果である。この結果により、昨年度課題となっていた「シラバスチェック者による基準のバラツキ」についても、ある程度改善を図ることができたのではないかと考える。

・重点項目における指摘 71 件については、科目担当教員に個別にフィードバックを行い、「シラバス改善報告書」をご提出いただいた。

・「授業時間外の学習（予習復習について）」欄において、目安となる時間が明示されていないとの指摘が一番多く、193 件あった。

・「授業で使用するテキスト・参考文献」欄において「特になし」の記載が多かった。

・シラバスチェックにあたり、指摘ポイントを明確にするためにチェックシートの様式を自由記述からリスト選択式に変更した。チェック者がわかりやすだけでなく指摘内容の集計も省力化でき、シラバス公開前に科目担当教員へ指摘事項をフィードバックすることができた。

【2】今後の課題等について

・2020 年 3 月 11 日付の大学基準協会からの「『改善報告書』の検討結果について（通知）」（2020 年 3 月 23 日教授会報告）によると、本学シラバスに対し、「『授業計画』が各回のタイトルのみを表示した科目が散見されることから、学生の学修に役立つシラバスとなるよう更なる改善が望まれる」との意見を受けている。今まで本学が許容してきた基準よりも、より厳しい基準によるシラバスが求められていることがわかる。よって、次年度以降のシラバス執筆要領を改訂する必要がある。

・「授業時間外の学習（予習復習について）」欄において、具体的な方法や目安となる時間が明示されていないとの指摘が一番多くあった。大学における単位制度では、大学設置基準に示されているように、1 単位の修得に必要な学習時間は 45 時間（講義の場合：講義 15 時間、予習復習 30 時間）と定められている。つまり、予習復習を含めての単位認定であることを改めて確認し、本欄の記述の充実を図りたい。

・2017 年度の文部科学省からの通達には、「テキスト・教科書」と「参考資料（参考書）」の両方とも「なし」は認められないとある。予習復習の充実のためにも、本欄の記述の徹底を図りたい。

学修行動調査

1. 目的

FD 活動の一環として、学生の学修時間の実態や学修行動・学修経験を把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実に役立てることを目的として実施します。

2. 対象

- ・学部・大学院の全学生（正規生）を対象とします。
- ・科目等履修生・聴講生（非正規生）は対象外とします。

3. 実施の流れ

時期	項目
11/1（月）～11/21（日）	アンケートの実施（SENZOKU ポータル）
	アンケートの実施（SENZOKU ポータル）延長
12/1（水）～3/18（金）	実施結果の閲覧（SENZOKU ポータル）

4. アンケートの質問内容と回答（別紙）

5. 集計

- ・以下の 2 種類の集計を実施します。

種類	内容
学年別集計	学年別による集計
全体集計	アンケート全体の集計

6. 結果の提示

- ・学年別集計及び全体集計は、SENZOKU ポータルを通じて、学生に提示します。

7. フィードバック

- ・教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会、教務委員会、IR 委員会等）は、教育改善のための資料として調査結果を活用するものとします。

授業に関するアンケート

1. 目的

FD 活動の一環として、学生からの授業に対する意見・感想を聞き、今後の本学の授業内容及び方法の改善に役立てることを目的として実施します。

2. 対象科目

- ・学部・大学院の全開講科目（講義・レッスン）を対象とします。
- ・兼任講師が担当する授業科目も対象とします。

3. 実施の流れ

前期科目	後期科目・通年科目	項目
6/30（水） ～7/30（金）	11/26（金） ～2/16（水）	アンケートの実施 （SENZOKU ポータル）
9/1（水） ～3/31（木）	3/4（金） ～7/31（日）	実施結果の閲覧 （SENZOKU ポータル）
2021 年 10 月	2022 年 6 月	大学ホームページへの掲載

4. アンケートの質問内容（別紙）

5. 集計

- ・以下の 2 種類の集計を実施します。

種類	内容
担当科目集計	各担当科目別の個々の教員データの集計
科目分類集計	講義、レッスン、室内楽研究、アンサンブル・ラボ、教職ピアノ実習の 5 分類による集計

6. 結果の提示及び公表

- ・担当科目集計及びアンケート結果は、SENZOKU ポータルを通じて、担当教員及び受講者に提示します。
- ・科目分類集計は、大学のホームページで公表します。

7. フィードバック

- ・各教員及び教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会、カリキュラム委員会等）は、授業改善のための資料としてアンケート結果を活用するものとします。

No	設問文（講義）
1	この授業に何回出席しましたか。
2	この授業のために1週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。
4	シラバス（主題と目標、授業計画）に沿って授業が行われましたか。
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか。
6	教員の声や話し方は明瞭でわかりやすかったですか。
7	板書や視聴覚教材の利用、資料の提示方法は適切でしたか。
8	授業に集中できるよう配慮をしていましたか。（私語の防止、遅刻への対応）
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか。
10	この授業を受講して有意義でしたか。
11	この授業の開始・終了時刻は守られていましたか。
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか。
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか。
14	この授業を総合的に評価して満足していますか。
15	この授業でよかった点を入力してください。（自由記述）
16	この授業で改善してほしい点を入力してください。（自由記述）
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください。 ・スマートフォン ・タブレット ・パソコン ・その他
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか。
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか

No	設問文（レッスン）
1	このレッスンに何回出席しましたか。
2	このレッスンのために1週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか。
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか。
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか。
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか。
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか。
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか。
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか。
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか。
12	このレッスンでよかった点を入力してください。（自由記述）
13	このレッスンで改善してほしい点を入力してください。（自由記述）

卒業・修了時満足度調査

1. 目的

FD 活動の一環として、卒業予定者を対象に学修成果を確認し、且つ、大学の提供した教育及び学生生活支援に対する総合的な意見・感想を聴取することにより、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実に役立てることを目的として実施します。

2. 対象

- ・正規生の学部 4 年生、大学院 2 年生を対象とします。
- ・非正規生の科目等履修生・聴講生は対象外とします。

3. 実施の流れ

前期	項目
1/12 (水) ~ 3/11 (金)	アンケートの実施 (SENZOKU ポータル)
4/4 (月) ~ 5/13 (金)	実施結果の閲覧 (デジタルサイネージ)

4. アンケートの質問内容 (別紙)

5. 集計

- ・以下の集計を実施します。

種類	内容
全体集計	アンケート全体の集計

6. 結果の提示

- ・集計結果は、デジタルサイネージを通じて、在学生に提示します。

7. フィードバック

- ・教員組織 (大学院 FD 委員会、FD 委員会、IR 委員会、教務委員会等) は、教育改善のための資料として調査結果を活用するものとします。

《質問内容・学部》

No	設問文	備考
1	教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。	
2	シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての的確な情報を得ることができた。	
3	それぞれの授業科目が何を目指したものが、到達目標が明確だった。	
4	授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。	
5	単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。	
6	授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。	
7	職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。	
8	事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。	
9	学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。	
10	（専門性、専門実技）自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができるようになった。	
11	（多様性の尊重）社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができるようになった。	
12	（協働する力）自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができるようになった。	
13	（社会貢献・実践的態度）自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度が身に付いた。	
14	（論理的思考力・問題解決力）論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができるようになった。	
15	洗足学園音楽大学を卒業して良かった。	
16	自らが所属したコースで学んだ意義があった。	
17	洗足学園音楽大学を卒業したことを誇らしく思っている。	
18	洗足学園音楽大学に愛着を持っている。	
19	洗足学園音楽大学に対する総合的な満足度（10点法）	
20	本学に対して、ご意見・ご要望・その他ご感想等があれば、自由に入力してください。（教員・職員、授業、施設・設備、演奏会、学内イベント、就職活動等）	

《質問内容・大学院》

No	設問文	備考
1	教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。	
2	シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての的確な情報を得ることができた。	
3	それぞれの授業科目が何を目指したのか、到達目標が明確だった。	
4	授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。	
5	単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。	
6	授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。	
7	職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。	
8	事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。	
9	学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。	
10	(専門性、専門実技) 自らの専門分野の高度で専門的な知識・技能あるいは研究能力を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。	
11	(多様性の尊重) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。	
12	(協働する力) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。	
13	(社会貢献・国際貢献・実践的態度) 国際社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。	
14	(論理的思考力・問題解決力) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。	
15	(プロフェッショナル) 社会における自らの専門分野の意義と役割を理解し、専門家として主体的で創造的な研究活動を継続することができる。	
16	洗足学園音楽大学大学院を修了して良かった。	
17	自らが所属した専攻・コースで学んだ意義があった。	
18	洗足学園音楽大学大学院を修了できることを誇らしく思っている。	
19	洗足学園音楽大学大学院に愛着を持っている。	
20	洗足学園音楽大学大学院に対する総合的な満足度 (10点法)	
21	本学に対して、ご意見・ご要望・その他ご感想等があれば、自由に入力してください。(教員・職員、授業、施設・設備、演奏会、学内イベント、就職活動等)	

FD 委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学教授会規程第9条第1項の規定に基づき、FD委員会の組織及び運営の方法その他必要な事項について定める。

(組織)

第2条 FD委員会は、次の各号にかかげる者をもって組織する。

- (1) 学部長
- (2) 学長の指名した教職員

(会議)

第3条 FD委員会に委員長を置き、学長の指名した者がこれに当たる。

- 2 委員長は、FD委員会を招集し、その議長となる。
- 3 FD委員会に副委員長を置くことができる。
- 4 副委員長は、学長の指名した者とし、委員長を補佐する。
- 5 議長は必要があると認めるときは、FD委員会の同意を得て前条に定める構成員以外の教職員を出席させることができる。

(会議成立の要件)

第4条 FD委員会は、当該構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

(審議事項等)

第5条 FD委員会は、教授会の委任に基づき次の各号にかかげる事項を審議する。

- (1) FD活動の企画立案
 - (2) FD活動の実施計画の立案
 - (3) FD活動の評価
 - (4) FD活動に関する情報の収集と提供
 - (5) その他学長の諮問する事項
- 2 FD委員会の構成員は、審議に関して同等の権利及び義務をもつ。

(議決)

第6条 FD委員会は、出席者の過半数をもって決定する。

- 2 賛否同数のときは、議長の決するところによる。

(議事録)

第7条 FD委員会の議事進行の過程及び決定事項は、議事録に記録する。

(事務の所管)

第8条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

大学院 FD 委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学大学院教授会規程第9条第1項の規定に基づき、大学院FD委員会の組織及び運営の方法その他必要な事項について定める。

(組織)

第2条 大学院FD委員会は、次の各号にかかげる者をもって組織する。

- (1) 研究科長
- (2) 学長の指名した教職員

(会議)

第3条 大学院FD委員会に委員長を置き、学長の指名した者がこれに当たる。

- 2 委員長は、大学院FD委員会を招集し、その議長となる。
- 3 大学院FD委員会に副委員長を置くことができる。
- 4 副委員長は、学長の指名した者とし、委員長を補佐する。
- 5 議長は必要があると認めるときは、大学院FD委員会の同意を得て前条に定める構成員以外の教職員を出席させることができる。

(会議成立の要件)

第4条 大学院FD委員会は、当該構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

(審議事項等)

第5条 大学院FD委員会は、教授会の委任に基づき次の各号にかかげる事項を審議する。

- (1) FD活動の企画立案
- (2) FD活動の実施計画の立案
- (3) FD活動の評価
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他学長の諮問する事項

- 2 大学院FD委員会の構成員は、審議に関して同等の権利及び義務をもつ。

(議決)

第6条 大学院FD委員会は、出席者の過半数をもって決定する。

- 2 賛否同数のときは、議長の決するところによる。

(議事録)

第7条 大学院FD委員会の議事進行の過程及び決定事項は、議事録に記録する。

(事務の所管)

第8条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

資料 1 : FD 研修会 (チラシ)



2021年度 FD研修会(オンライン)

【講演テーマ】

内部質保証を学習成果につなげる道標

【講師】 大森 不二雄 氏(東北大学教授)

【講演内容】全30分

教育の内部質保証は、本来、学生の学習成果を向上させ、大学教育が使命を果たすための営みそのものである。その最重要の主体は、授業や学習支援等を担う教職員一人一人であり、その共同体としての大学である。しかし、現実には、上からの評価に対応する業務負担として捉えられている面は否めない。本研修は、大学教育の改善や学習成果の向上等のインパクトに繋がる「内部質保証」について学びます。

【研修期間】2021年6月3日(木)～11日(金)

【研修参加方法】

①PCにて、下記URLにアクセスし、講演を視聴してください。

<http://senzoku.tohoku.ac.jp/CPD/PDPonline/archive/detail.php?id=78>

②視聴後、SENZOKU ポータル「掲示・アンケート」の「アンケート回答」にアクセスし、「2021年度FD研修会参加者 アンケート」に回答してください。

【備考】東北大学高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センターが提供する、専門性開発プログラム(Professional Development Program; PDP)を利用した研修会となります。

FD委員会/大学院FD委員会

資料 2 : 学修行動調査結果

2021年度 学修行動調査

洗足学園音楽大学・大学院
FD委員会/大学院FD委員会

1

<1> 調査概要

【調査目的】学生の学修時間の実態や学修行動・学修経験を把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる

【実施方法】SENZOKUポータル・アンケート機能にて

【対象】音楽学部、音楽研究科(全専攻、全コース、全学年)

【実施時期】2021年11月1日～12月12日

【所要時間】10分弱

【質問数】90問(学部1年・専攻科・大学院1年は72問)

【調査項目】通学日数 / 学習時間 / 学習以外の時間の過ごし方 / 課外活動の実施状況 / 授業の出席率 / 大学教育の選好 / 授業への取り組み / 学修成果 / 大学満足度

【比較対象】

ベネッセ総合教育研究所「第3回大学生の学習・生活実態調査報告書」(2016年実施/2018年調査結果公表)

東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策研究センター「大学教育についての職業人調査」(2009年)

2

〈2-1〉 調査の背景

- ◆ 私学事業団「一般補助・教育の質に係る客観的指標調査」(経常費補助金)への対応
- (設問) 学生の学修時間の実態及び学修行動の把握を組織的に行うとともに、その結果を授業等教育活動の見直しに活用していますか。
- (要件) 学生の学修時間の実態及び学修行動の把握のための手法として、アンケート調査等が考えられるが、学修時間の実態を定量的に把握し集計・分析していること。
- (設問) 学生本人の学修成果の把握や学修等の動機付けのために、単位認定、学位授与、卒業判定等とは別に、以下のア～エのいずれかの手法を用いて学修成果の把握を行い、学生へのフィードバック及びその結果を授業等教育活動の見直しに活用していますか。
 - ア 外部の標準化されたテスト等による学修成果の調査・測定(アセスメント・テスト)
 - イ 学生の学修成果を把握するためのアンケート調査等
 - ウ 学修評価の観点・基準を定めたルーブリックの活用
 - エ 学修ポートフォリオの活用
- (要件) 学修成果の把握とは、成績推移等から教育成果を把握することを目的として、学修前と学修後の双方の時点において、実施すること。また、アンケート調査は学生個人に着目して行われることが必要。この場合、調査対象は学生全員、かつ記名式のもの前提とする。

3

〈2-2〉 調査の背景

- ◆ 学修成果の可視化(評価指標の例) →調査結果の公表が求められている

	入学前・入学直後	在学中	卒業時・卒業後
大学レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・学生調査 ・調査書等の記載内容 ・入学時調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・休学率 ・退学率 ・学生調査 ・満足度調査 ・学修行動調査 ・課外活動状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業率 ・就職率 ・進学率 ・学位授与数 ・アンケート調査
学部レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・入学時調査 ・面接、志望理由等 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA ・進級率 ・休学率 ・退学率 ・修得単位数 ・満足度調査 ・学修行動調査 ・課外活動状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA ・国家試験合格率 ・単位修得状況 ・卒業時満足度調査 ・アンケート調査 ・就職率 ・学位授与数 ・就職先の卒業生評価
科目レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・プレズメントテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価 ・学修ポートフォリオ 	

4

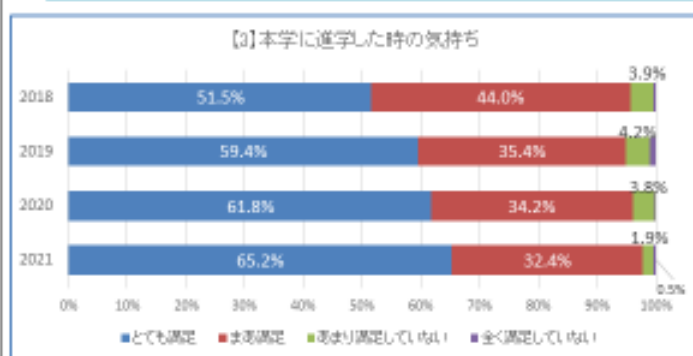
<3> 回答率

	在学学生数	回答者数	2021 回答率	2020 回答率	2019 回答率	2018 回答率
1年生	630人	374人	59.4%	76.9%	66.8%	65.8%
2年生	555人	273人	49.2%	49.3%	47.1%	46.1%
3年生	539人	202人	37.5%	39.8%	40.5%	32.6%
4年生	507人	175人	34.5%	36.4%	33.2%	31.3%
学部合計	2231人	1024人	45.9%	51.6%	47.8%	45.2%

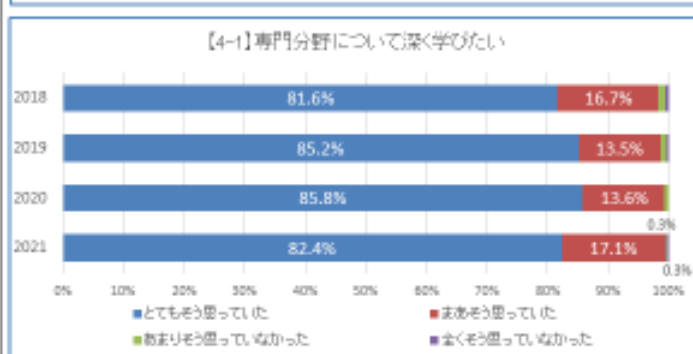
	在学学生数	回答者数	2021 回答率	2020 回答率	2019 回答率	2018 回答率
院1年生	83人	37人	44.6%	72.2%	70.1%	68.1%
院2年生	73人	50人	68.5%	67.7%	72.5%	78.9%
院合計	156人	87人	55.8%	71.9%	71.3%	73.0%

5

<4-1> 分析① 新入生(学部)の傾向



	2021	2020	2019	2018
とても	65.2%	61.8%	59.4%	51.5%
まあ	32.4%	34.2%	35.4%	44.0%
あまり	1.9%	3.8%	4.2%	3.9%
全く	0.5%	0.2%	1.0%	0.6%

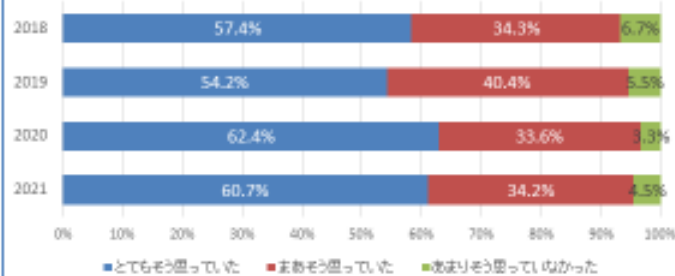


	2021	2020	2019	2018
とても	82.4%	85.8%	85.2%	81.6%
まあ	17.1%	13.6%	13.5%	16.7%
あまり	0.3%	0.7%	1.0%	1.1%
全く	0.3%	0.0%	0.3%	0.6%

6

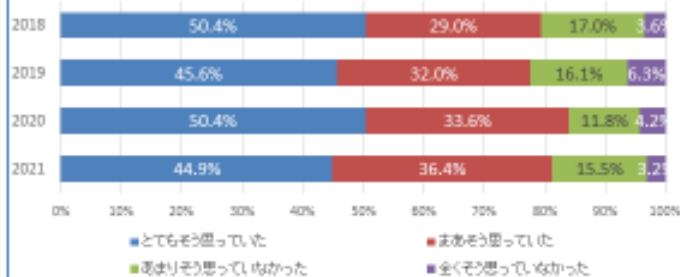
<4-1> 分析① 新入生(学部)の傾向

【4-2】幅広い知識や教養を身につけたい



	2021	2020	2019	2018
とても	60.7%	62.4%	54.2%	57.4%
まあ	34.2%	33.6%	40.4%	34.3%
あまり	4.5%	3.3%	5.5%	6.7%
全く	0.5%	0.7%	0.5%	1.7%

【4-3】就職につながる学習や資格取得、活動をしたい

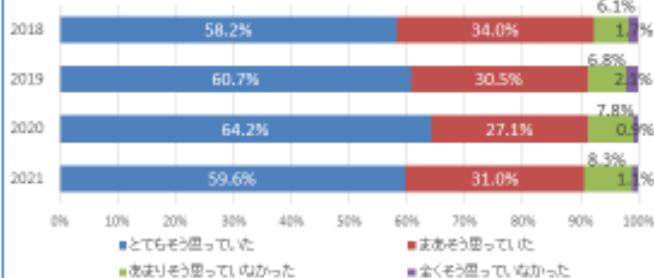


	2021	2020	2019	2018
とても	44.9%	50.4%	45.6%	50.4%
まあ	36.4%	33.6%	32.0%	29.0%
あまり	15.5%	11.8%	16.1%	17.0%
全く	3.2%	4.2%	6.3%	3.6%

7

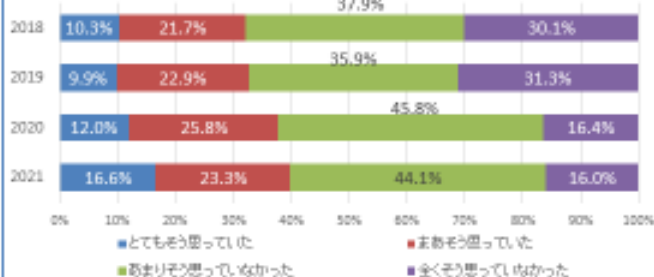
<4-1> 分析① 新入生(学部)の傾向

【4-4】友人をつくりよい人間関係を広げたい



	2021	2020	2019	2018
とても	59.6%	64.2%	60.7%	58.2%
まあ	31.0%	27.1%	30.5%	34.0%
あまり	8.3%	7.8%	6.8%	6.1%
全く	1.1%	0.9%	2.1%	1.7%

【4-5】クラブ、サークルなどの課外活動に力を入れたい



	2021	2020	2019	2018
とても	16.6%	12.0%	9.9%	10.3%
まあ	23.3%	25.8%	22.9%	21.7%
あまり	44.1%	45.8%	35.9%	37.9%
全く	16.0%	16.4%	31.3%	30.1%

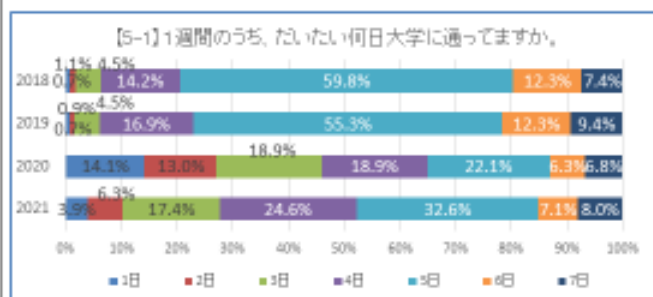
8

<4-1> 分析① 新入生(学部)の傾向

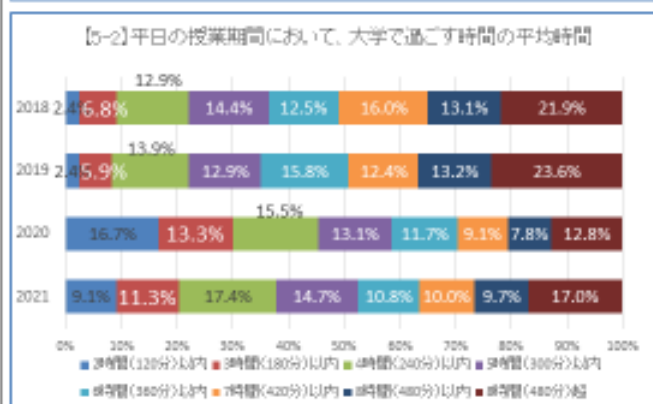
1. 「本学に進学した時の気持ち(とても満足)」が2018年から2021年にかけて計13.7ポイント増加。
 2. 「専門分野について深く学びたい(とてもそう思っていた)」は2018年から2021年にかけて+3.6ポイント、+0.6ポイント、-3.4ポイントの推移。
 3. 「幅広い知識や教養を身につけたい(とてもそう思っていた)」は2018年から2021年にかけて-3.2ポイント、+8.2ポイント、-1.7ポイントの推移。
 4. 「就職につながる学習や資格取得、活動をしたい(とてもそう思っていた)」は2018年から2021年にかけて-4.8ポイント、+4.8ポイント、-5.5ポイントの推移。
 5. 「友人をつくりよい人間関係を広げたい(とてもそう思っていた)」は2018年から2021年にかけて+2.5ポイント、+3.5ポイント、-4.6ポイントの推移。
 6. 「クラブ、サークルなどの課外活動に力を入れたい(とてもそう思っていた)」は2019年が9.9%と前年度から0.4ポイント減少していたが、2021年度が16.6ポイントと、2年間で計6.7ポイント増加している。
- コロナ禍による状況の変化はあるが、本学に進学したときの気持ちがとても満足と回答する新入生は年々増加している。
 - 2019年から2021年にかけてクラブ、サークルなどの課外活動に力を入れたいと思う新入生は増加傾向にあり、コロナ禍での行動制約が求められる中、学生が求める生活について今後が懸念される。

9

<4-2> 分析② 学生生活の傾向



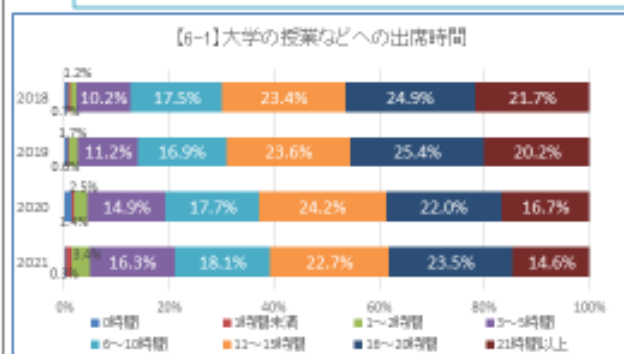
	2021	2020	2019	2018
1日	3.9%	14.1%	0.7%	0.7%
2日	6.3%	13.0%	0.9%	1.1%
3日	17.4%	18.9%	4.5%	4.5%
4日	24.6%	18.9%	18.9%	14.2%
5日	32.6%	22.1%	55.3%	59.8%
6日	7.1%	6.3%	12.3%	12.3%
7日	8.0%	6.8%	8.4%	7.4%



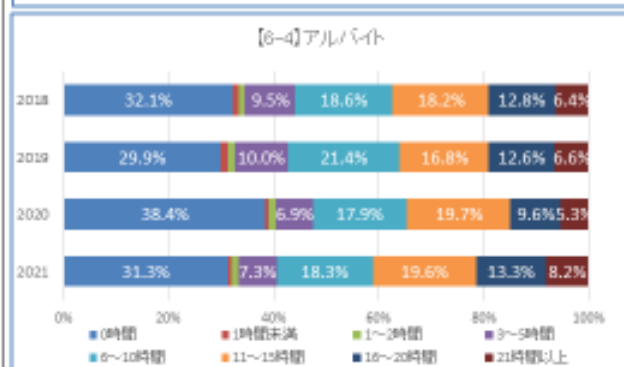
	2021	2020	2019	2018
2時間以内	9.1%	16.7%	2.4%	2.4%
3時間以内	11.3%	13.3%	5.9%	6.8%
4時間以内	17.4%	15.5%	13.9%	12.9%
5時間以内	14.7%	13.1%	12.9%	14.4%
6時間以内	10.8%	11.7%	15.8%	12.5%
7時間以内	10.0%	9.1%	12.4%	16.0%
8時間以上	9.7%	7.8%	13.2%	13.1%
8時間以上	17.0%	12.8%	23.6%	21.9%

10

<4-2> 分析② 学生生活の傾向



	2021	2020	2019	2018
0時間	0.3%	1.4%	0.6%	0.7%
1時間未満	1.1%	0.5%	0.3%	0.5%
1~2時間	3.4%	2.5%	1.7%	1.2%
3~5時間	16.3%	14.9%	11.2%	10.2%
6~10時間	18.1%	17.7%	16.9%	17.5%
11~15時間	22.7%	24.2%	23.6%	23.4%
16~20時間	23.5%	22.0%	25.4%	24.9%
21時間以上	14.6%	16.7%	20.2%	21.7%



	2021	2020	2019	2018
0時間	31.3%	38.4%	29.9%	32.1%
1時間未満	0.8%	0.7%	1.3%	1.2%
1~2時間	1.3%	1.4%	1.4%	1.1%
3~5時間	7.3%	6.9%	10.0%	9.5%
6~10時間	18.3%	17.9%	21.4%	18.6%
11~15時間	19.6%	19.7%	16.8%	18.2%
16~20時間	13.3%	9.6%	12.6%	12.8%
21時間以上	8.2%	5.3%	6.6%	6.4%

11

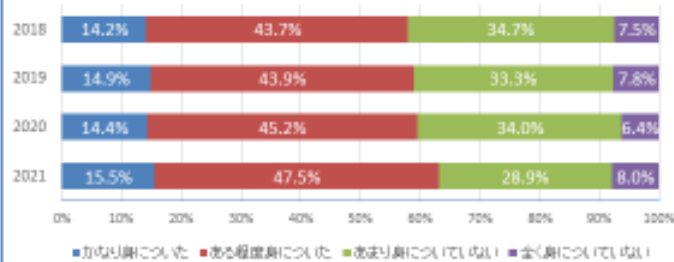
<4-2> 分析② 学生生活の傾向

- 「1週間のうち、だいたい何日大学に通ってますか。(5日)」が2019年から2020年にかけて33.2ポイント減少と7日間のうちで最も変化が大きい。次に大きい変化が(3日)で14.4%増加。
 - 「平日の授業期間において、大学で過ごす時間の平均時間(2時間(120分)以内)」が2019年から2020年にかけて14.3%増加と7日間のうちで最も変化が大きい。次に大きい変化が(8時間(480分)超)で10.8%減少。
 - 「大学の授業などへの出席時間」は、2019年から2020年にかけて最も大きい変化でも8項目のうち(3~5時間)が3.7ポイント増加で最も大きい。次に大きい変化が(16~20時間)で3.4%減少
 - 「アルバイト」は、2019年から2020年にかけて最も大きい変化でも8項目のうち(0時間)が8.5ポイント増加で最も大きい。次に大きい変化が(6~10時間)で3.5%減少
- 週に大学に通う日数や、授業期間中の大学で過ごす平均時間の変化がほかの年に比べ2019年から2020年にかけて大きい。コロナ禍が影響か。
 - 2020年度にオンライン教育が導入されたことが大学の授業などへの出席時間に影響を与えている可能性がある。ただし、上記項目1,2ほどの変化はみられず。
 - アルバイト就労率が2020年度に減少、活動の制限に繋がるか。なお、2021年度は増加。

12

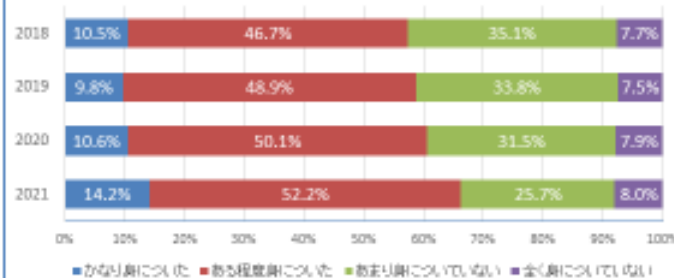
<4-3> 分析③ 学びの充実度・成長実感

【11-2】自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる



	2021	2020	2019	2018
かなり	15.5%	14.4%	14.9%	14.2%
ある程度	47.5%	45.2%	43.9%	43.7%
あまり	28.9%	34.0%	33.3%	34.7%
全く	8.0%	6.4%	7.8%	7.5%

【11-21】筋道を立てて論理的に問題を解決する

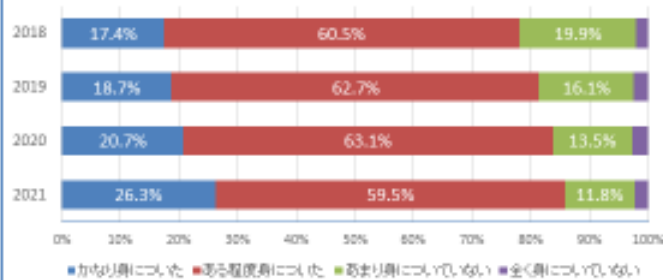


	2021	2020	2019	2018
かなり	14.2%	10.6%	9.8%	10.5%
ある程度	52.2%	50.1%	48.9%	46.7%
あまり	25.7%	31.5%	33.8%	35.1%
全く	8.0%	7.9%	7.5%	7.7%

13

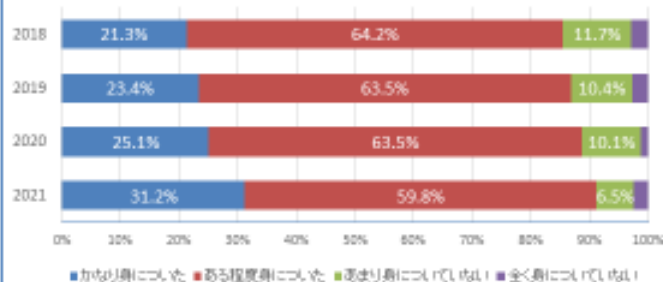
<4-3> 分析③ 学びの充実度・成長実感

【11-25】社会や文化の多様性を理解し、尊重する



	2021	2020	2019	2018
かなり	26.3%	20.7%	18.7%	17.4%
ある程度	59.5%	63.1%	62.7%	60.5%
あまり	11.8%	13.5%	16.1%	19.9%
全く	2.3%	2.7%	2.5%	2.1%

【11-27】社会の規範やルールにしたがって行動する



	2021	2020	2019	2018
かなり	31.2%	25.1%	23.4%	21.3%
ある程度	59.8%	63.5%	63.5%	64.2%
あまり	6.5%	10.1%	10.4%	11.7%
全く	2.5%	1.2%	2.7%	2.9%

14

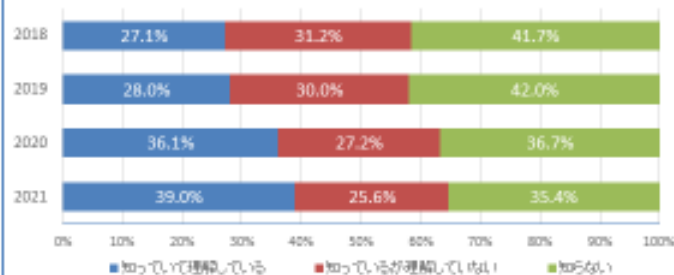
<4-3> 分析③ 学びの充実度・成長実感

- 「学びの充実度・成長実感」の中で、身についた(かなり身についた+ある程度身についた)という割合が2018年から2021年にかけて増加した項目は全部で、「自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる」「筋道を立てて論理的に問題を解決する」「社会や文化の多様性を理解し、尊重する」「社会の規範やルールにしたがって行動する」の4項目。
- 「自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる」「筋道を立てて論理的に問題を解決する」「社会や文化の多様性を理解し、尊重する」「社会の規範やルールにしたがって行動する」4項目の(身についた)割合の増加傾向が目立つ。

15

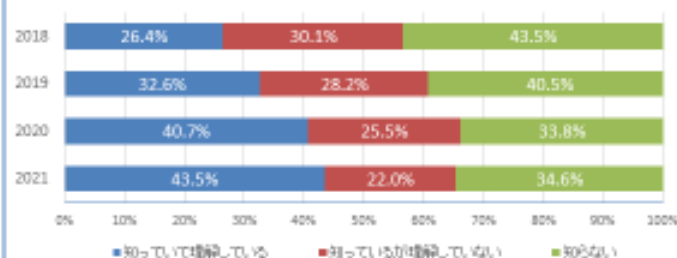
<4-4> 分析④ 建学の精神・3ポリシーの認知度

【14-1】本学の建学の精神についてどのくらい理解していますか。



	2021	2020	2019	2018
理解している	39.0%	36.1%	28.0%	27.1%
理解していない	25.6%	27.2%	30.0%	31.2%
知らない	35.4%	36.7%	42.0%	41.7%

【14-2】本学のアドミッションポリシーについてどのくらい理解していますか。

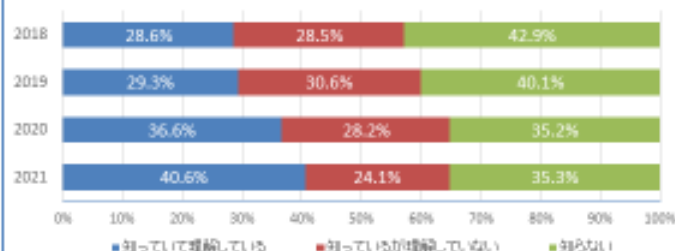


	2021	2020	2019	2018
理解している	43.5%	40.7%	32.6%	26.4%
理解していない	22.0%	25.5%	28.2%	30.1%
知らない	34.6%	33.8%	40.5%	43.5%

16

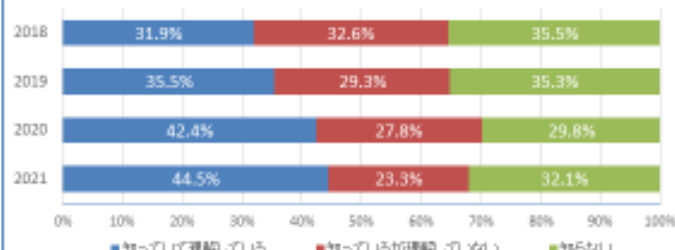
<4-4> 分析④ 建学の精神・3ポリシーの認知度

【14-3】本学のカリキュラムポリシーについて
どのくらい理解していますか。



	2021	2020	2019	2018
知っている	40.6%	36.6%	29.3%	28.6%
知っているが理解していない	24.1%	28.2%	30.6%	28.5%
知らない	35.3%	35.2%	40.1%	42.9%

【14-4】本学のディプロマポリシーについて
どのくらい理解していますか。



	2021	2020	2019	2018
理解している	44.5%	42.4%	35.5%	31.9%
理解していない	23.3%	27.8%	29.3%	32.6%
知らない	32.1%	29.8%	35.3%	35.5%

17

<4-4> 分析④ 建学の精神・3ポリシーの認知度

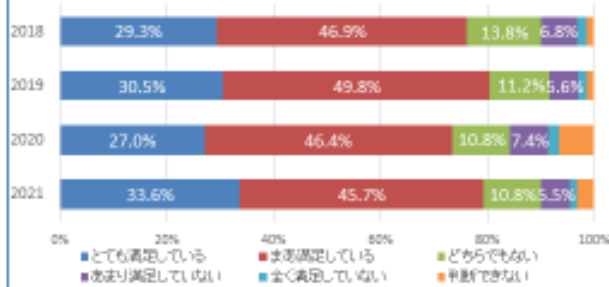
1. 「本学の建学の精神についてどのくらい理解してしますか。（知っている理解している）」が2018年から2021年にかけて増加傾向、計11.3ポイント増加。2020年度には（知らない）を上回る。
2. 「本学のアドミッションポリシーについてどのくらい理解してしますか。（知っている理解している）」が2018年から2021年にかけて増加傾向、計17.1ポイント増加。2020年度には（知らない）を上回る。
3. 「本学のカリキュラムポリシーについてどのくらい理解してしますか。（知っている理解している）」が2018年から2021年にかけて増加傾向、計12.0ポイント増加。2020年度には（知らない）を上回る。
4. 「本学のディプロマポリシーについてどのくらい理解してしますか。（知っている理解している）」が2018年から2021年にかけて増加傾向、計12.6ポイント増加。2019年度には（知らない）を上回る。

- ここ4年間において、建学の精神、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを知っていて理解している学生が2021年度に最大値。

18

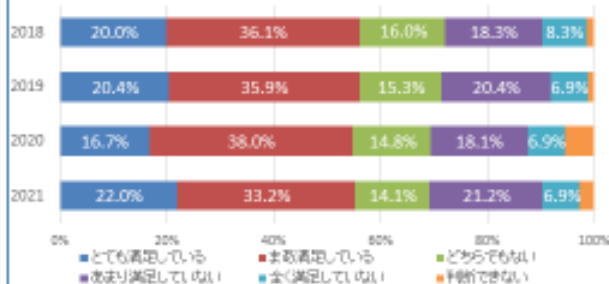
<4-5> 分析⑤ 満足度

【15-1】施設・設備(図書館やインターネットの利用など)



	2021	2020	2019	2018
とても	33.6%	27.0%	30.5%	29.3%
まあ	45.7%	46.4%	49.8%	46.9%
どちらでも	10.8%	10.8%	11.2%	13.8%
あまり	5.5%	7.4%	5.6%	6.8%
全く	1.3%	2.0%	1.5%	1.9%
判断	3.1%	6.5%	1.3%	1.2%

【15-2】自習環境(練習室など)

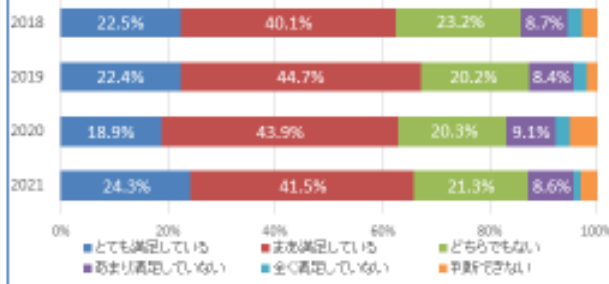


	2021	2020	2019	2018
とても	22.0%	16.7%	20.4%	20.0%
まあ	33.2%	38.0%	35.9%	36.1%
どちらでも	14.1%	14.8%	15.3%	16.0%
あまり	21.2%	18.1%	20.4%	18.3%
全く	6.9%	6.9%	6.9%	8.3%
判断	2.6%	5.5%	1.2%	1.4%

19

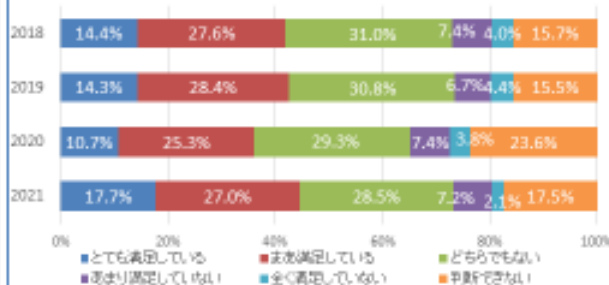
<4-5> 分析⑤ 満足度

【15-3】学習支援の体制
(履修科目・履修登録・学習科目・補習など)



	2021	2020	2019	2018
とても	24.3%	18.9%	22.4%	22.5%
まあ	41.5%	43.9%	44.7%	40.1%
どちらでも	21.3%	20.3%	20.2%	23.2%
あまり	8.6%	9.1%	8.4%	8.7%
全く	1.3%	2.7%	2.4%	2.8%
判断	3.0%	5.1%	1.9%	2.7%

【15-4】進路支援の体制(就職セミナーやガイダンスなど)

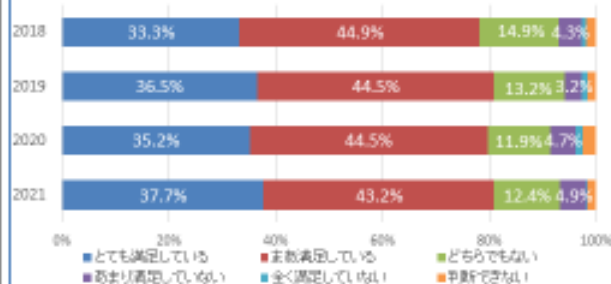


	2021	2020	2019	2018
とても	17.7%	10.7%	14.3%	14.4%
まあ	27.0%	25.3%	28.4%	27.6%
どちらでも	28.5%	29.3%	30.8%	31.0%
あまり	7.2%	7.4%	6.7%	7.4%
全く	2.1%	3.8%	4.4%	4.0%
判断	17.5%	23.6%	15.5%	15.7%

20

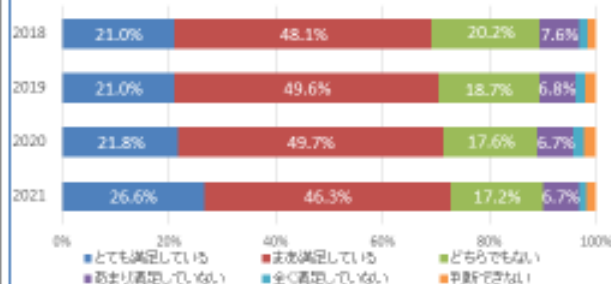
<4-5> 分析⑤ 満足度

【15-5】教員(専門性の高さやよい影響を受けるなど)



	2021	2020	2019	2018
とても	37.7%	35.2%	36.5%	33.3%
まあ	43.2%	44.5%	44.5%	44.9%
どちらでも	12.4%	11.9%	13.2%	14.9%
あまり	4.9%	4.7%	3.2%	4.3%
全く	0.4%	1.4%	1.1%	0.8%
判断	1.5%	2.4%	1.5%	1.8%

【15-6】授業・教育システム(授業内容やカリキュラムなど)

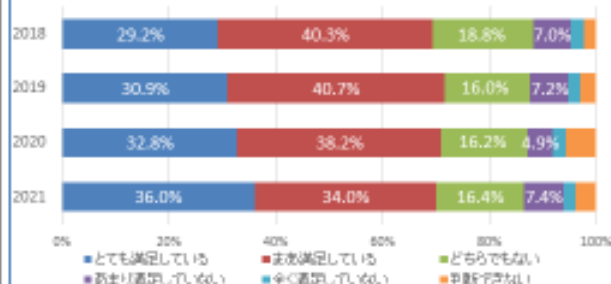


	2021	2020	2019	2018
とても	26.6%	21.8%	21.0%	21.0%
まあ	46.3%	49.7%	49.6%	48.1%
どちらでも	17.2%	17.6%	18.7%	20.2%
あまり	6.7%	6.7%	6.8%	7.6%
全く	1.4%	2.1%	1.9%	1.6%
判断	1.8%	2.3%	1.9%	1.5%

21

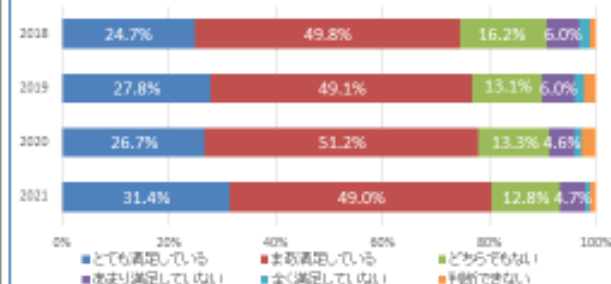
<4-5> 分析⑤ 満足度

【15-7】友人関係



	2021	2020	2019	2018
とても	36.0%	32.8%	30.9%	29.2%
まあ	34.0%	38.2%	40.7%	40.3%
どちらでも	16.4%	16.2%	16.0%	18.8%
あまり	7.4%	4.9%	7.2%	7.0%
全く	2.2%	2.4%	2.3%	2.5%
判断	3.9%	5.6%	2.8%	2.2%

【15-8】大学生活を総合的に判断して



	2021	2020	2019	2018
とても	31.4%	26.7%	27.8%	24.7%
まあ	49.0%	51.2%	49.1%	49.8%
どちらでも	12.8%	13.3%	13.1%	16.2%
あまり	4.7%	4.6%	6.0%	6.0%
全く	0.9%	1.4%	1.8%	2.2%
判断	1.2%	2.8%	2.2%	1.0%

22

〈4-5〉 分析⑤ 満足度

1. 「施設・設備(図書館やインターネットの利用など)」「自習環境(練習室など)」「学習支援の体制(履修相談・履修登録・学習相談・補習など)」「進路支援の体制(就職セミナーやガイダンスなど)」「教員(専門性の高さやよい影響を受けるなど)」「大学生活を総合的に判断して」の7項目における(とても満足している)が、変化の大きさに差はあるが、2019年度から2020年度に減少したものの、2021年度には増加している項目。
2. 「友人関係(とても満足している)」は2018年度から2021年度にかけて増加傾向にあり、計6.8ポイント増加
 - ・ コロナ禍の影響か、満足度にかかわる多くの項目における(とても満足している)が2020年度に減少したが、2021年度には増加している。
 - ・ コロナ禍での行動制約により、活動に制限がかけられる中、本学における学生が感じる友人関係(とても満足している)は増加傾向にある。

23

〈5〉 まとめ

- ①新入生(学部)について、進学満足度は高く増加傾向にある。課外活動に意欲的な学生も増加している。
- ②学生生活について、複数の項目で2020年度に大きな変化が見られた。
- ③2020年度にオンライン教育が導入されたことが大学の授業などへの出席時間に影響を与えている可能性がある。
- ④建学の精神、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを知っていて理解している学生が多い。
- ⑤2020年度に満足度における「とても満足している」が減少した項目が複数みられたが、2021年度には増加しており、今後に期待したい。
- ⑥コロナ禍の脅威は依然として続いているため、今回の調査結果を踏まえ、学内の学生対応の在り方を引き続き考える。

24

資料 3 : 授業に関するアンケート結果

2022-06-15版

2021 年度 前期 授業に関するアンケート

区分別集計結果表

学部・専攻科-講義全体

学部・専攻科-レッスン全体

洗足学園音楽大学・大学院

2022-06-15版

2021年度前期（遠隔授業用）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

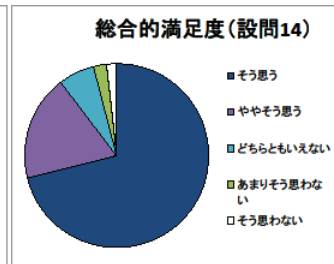
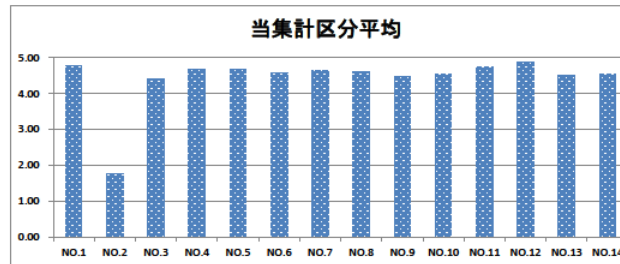
集計区分 **学部-大学講義**

履修者数	9190
回答数	4172
回答率	45.40%

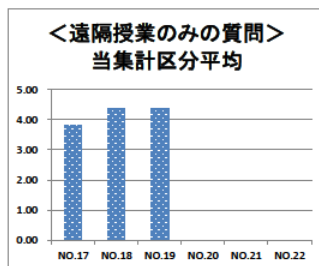
あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			半期15-13回 通年30-28回	半期12-10回 通年25-20回	半期9-7回 通年18-14回	半期6-4回 通年13-8回	半期3回以下 通年7回以下		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.77	83.15%	13.28%	1.97%	0.74%	0.86%	4172	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	1.75	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	4172	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.42	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	4172	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.69	77.89%	15.34%	5.29%	1.02%	0.46%	3931	241
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.69	78.26%	14.95%	4.73%	1.35%	0.71%	3932	240
6	教員の声や話し方は明確でわかりやすかったですか	4.59	74.50%	15.12%	6.68%	2.14%	1.56%	3922	250
7	板書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.63	75.40%	16.14%	5.20%	2.22%	1.05%	3923	249
8	授業に集中できるような配慮をされていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.61	74.51%	15.03%	8.12%	1.54%	0.80%	3892	280
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.49	71.65%	13.55%	9.39%	2.80%	2.62%	3898	274
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.55	71.70%	17.68%	6.34%	2.52%	1.76%	3926	246
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.75	83.43%	10.34%	4.34%	1.18%	0.72%	3898	274
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.89	91.74%	6.21%	1.48%	0.49%	0.08%	3910	262
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.52	70.48%	17.40%	7.30%	3.34%	1.48%	3920	252

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.55	71.09%	18.58%	6.28%	2.28%	1.77%	4171	1



授業科目について: 遠隔授業のみの設問		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う スズホ	ややそう思う タブレット	どちらとも パソコン	あまりそう その他	そう思わない		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	3.83	36.45%	11.57%	50.20%	1.78%	0.00%	3588	584
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.39	57.80%	28.96%	7.33%	5.91%	0.00%	846	3326
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.36	53.37%	33.89%	7.69%	5.05%	0.00%	832	3340



2021年度前期（遠隔授業用）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

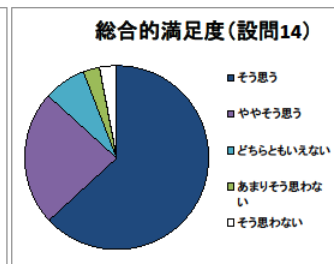
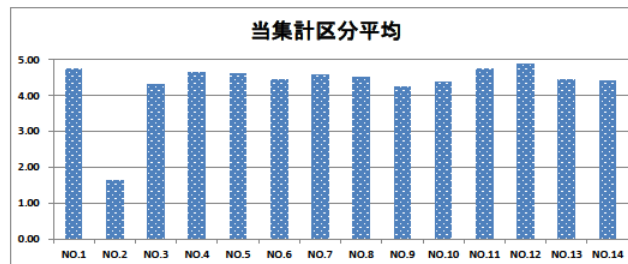
集計区分 学部-教養／一般総合

履修者数	2932
回答数	1192
回答率	40.65%

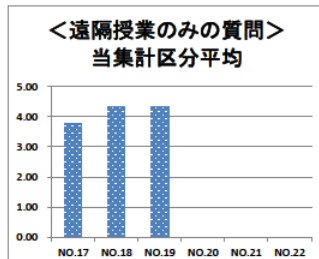
あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.73	半期15-13回 通年20-20回 79.87%	半期12-10回 通年25-20回 15.60%	半期9-7回 通年19-14回 2.68%	半期6-4回 通年12-6回 1.26%	半期3回以下 通年7回以下 0.59%	1192	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	1.62	4時間以上 2.01%	3-4時間 2.10%	2-3時間 8.64%	1-2時間 30.70%	1時間未満 56.54%	1192	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.31	そう思う 53.19%	ややそう思う 31.04%	どちらとも いえない 11.16%	あまりそう 思わない 2.94%	そう思わない 1.68%	1192	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.64	75.02%	16.77%	6.42%	1.16%	0.62%	1121	71
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.61	73.61%	17.44%	6.08%	1.88%	0.98%	1118	74
6	教員の声や話し方は明瞭でわかりやすかったですか	4.45	68.71%	16.46%	9.17%	2.79%	2.88%	1112	80
7	板書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.59	72.43%	18.44%	5.73%	2.06%	1.34%	1117	75
8	授業に集中できるように配慮していましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.52	69.30%	17.26%	10.45%	1.73%	1.27%	1101	91
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.23	62.27%	14.18%	13.55%	4.36%	5.64%	1100	92
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.38	62.49%	22.83%	7.70%	4.12%	2.86%	1117	75
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.73	81.83%	10.26%	6.81%	0.82%	0.27%	1101	91
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.89	92.06%	5.78%	1.35%	0.72%	0.08%	1108	84
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.42	64.21%	21.58%	8.54%	3.51%	2.16%	1112	80

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.41	63.17%	23.57%	7.38%	2.85%	3.02%	1192	0



授業科目について:遠隔授業のみの設問		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	3.77	33.52%	10.42%	55.59%	0.47%	0.00%	1065	127
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.34	60.89%	20.66%	9.96%	8.49%	0.00%	271	921
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.32	56.59%	25.97%	10.47%	6.98%	0.00%	258	934



2022-06-15 版

2021年度前期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

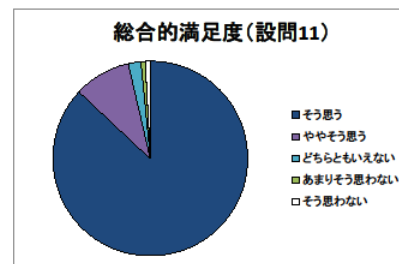
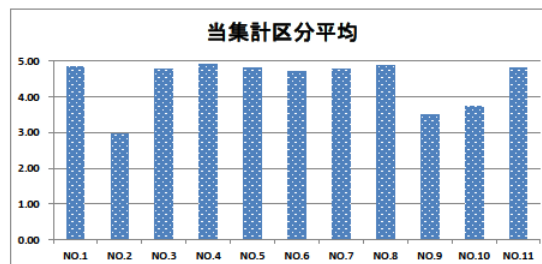
集計区分 学部レッスン用-全体

履修者数	1663
回答数	716
回答率	43.05%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.84	半期15-19回 通年20-24回	半期12-16回 通年25-29回	半期9-11回 通年18-14回	半期6-4回 通年12-8回	半期3回以下 通年7回以下	716	0
			87.99%	9.36%	1.68%	0.42%	0.56%		
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	2.97	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	716	0
			19.41%	13.83%	22.91%	31.70%	12.15%		
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.79	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	716	0
			82.54%	15.08%	1.68%	0.14%	0.56%		

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.91	92.15%	6.67%	0.74%	0.44%	0.00%	675	41
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.82	85.71%	11.61%	1.93%	0.45%	0.30%	672	44
6	レッスンを通じて、演奏技術は上進しましたか	4.72	78.49%	16.91%	3.26%	0.89%	0.45%	674	42
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.79	84.55%	11.74%	2.53%	1.04%	0.15%	673	43
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.88	90.18%	8.63%	0.80%	0.45%	0.15%	672	44
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.50	33.98%	15.20%	26.38%	15.50%	8.94%	671	45
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.72	42.58%	15.89%	22.64%	9.00%	9.90%	667	49

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.81	86.99%	9.37%	2.10%	0.70%	0.84%	715	1



2022-06-15版

2021年度前期 授業に関するアンケート レッスン用 集計結果

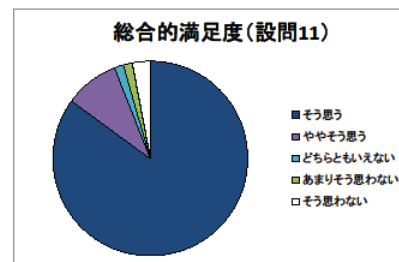
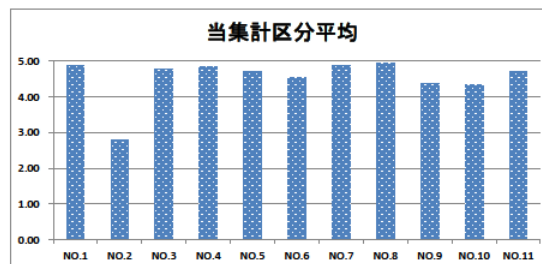
集計区分 学部-アンサンブルラボ

履修者数	179
回答数	67
回答率	37.43%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.90	5 半期15-13回 通年20-20回	4 半期12-10回 通年25-20回	3 半期9-7回 通年19-14回	2 半期6-4回 通年12-6回	1 半期3回以下 通年7回以下	67	0
			91.04%	7.46%	1.49%	0.00%	0.00%		
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	2.81	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	67	0
			16.42%	11.94%	26.87%	25.37%	19.40%		
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.79	5 そう思う	4 ややそう思う	3 どちらとも いえない	2 あまりそう 思わない	1 そう思わない	67	0
			86.57%	10.45%	0.00%	1.49%	1.49%		

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.85	5 そう思う	4 ややそう思う	3 どちらとも いえない	2 あまりそう 思わない	1 そう思わない	62	5
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.73	90.32%	6.45%	1.61%	1.61%	0.00%	62	5
6	レッスンを通じて、演奏技術は上進しましたか	4.54	77.42%	17.74%	4.84%	0.00%	0.00%	63	4
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.87	71.43%	19.05%	4.76%	1.59%	3.17%	63	4
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.94	87.30%	12.70%	0.00%	0.00%	0.00%	63	4
9	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.94	93.65%	6.35%	0.00%	0.00%	0.00%	63	4
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	4.39	64.52%	14.52%	16.13%	4.84%	0.00%	62	5
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	4.35	62.90%	12.90%	20.97%	3.23%	0.00%	62	5

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.72	5 そう思う	4 ややそう思う	3 どちらとも いえない	2 あまりそう 思わない	1 そう思わない	67	0
			85.07%	8.96%	1.49%	1.49%	2.99%		



2022-06-15版

2021年度前期 授業に関するアンケート レッスン用 集計結果

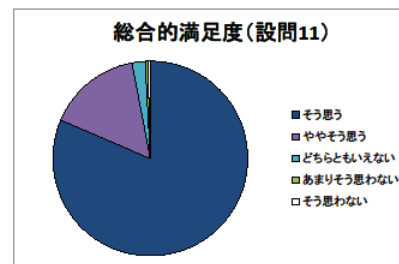
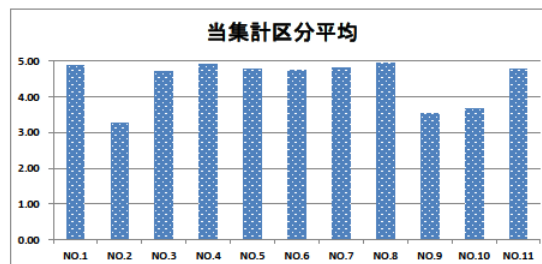
集計区分 学部-教職ピアノ実習

履修者数	423
回答数	232
回答率	54.85%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.88	半期15-13回 通年20-20回	半期12-10回 通年25-20回	半期9-7回 通年19-14回	半期6-4回 通年12-6回	半期3回以下 通年7回以下	232	0
			90.52%	7.76%	1.29%	0.00%	0.43%		
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.26	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	232	0
			25.43%	17.24%	21.98%	28.45%	6.90%		
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.72	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	232	0
			77.59%	18.97%	2.59%	0.00%	0.86%		

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.91	91.89%	6.76%	1.35%	0.00%	0.00%	222	10
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.78	82.27%	15.00%	1.82%	0.45%	0.45%	220	12
6	レッスンを通じて、演奏技術は上進しましたか	4.74	77.38%	19.00%	3.62%	0.00%	0.00%	221	11
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.82	85.52%	12.22%	1.36%	0.45%	0.45%	221	11
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.95	95.00%	5.00%	0.00%	0.00%	0.00%	220	12
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.54	31.67%	19.91%	26.24%	14.93%	7.24%	221	11
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.68	40.72%	16.74%	21.27%	12.22%	9.05%	221	11

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.77	81.47%	15.52%	2.16%	0.43%	0.43%	232	0



2022-06-15版

2021年度前期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

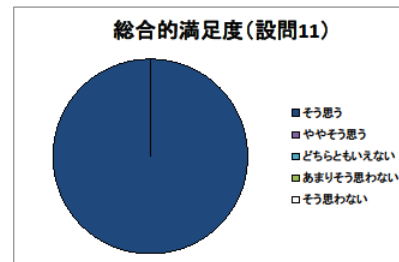
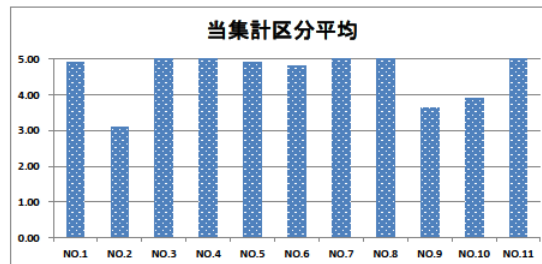
集計区分 大学院-レッスン

履修者数	13
回答数	11
回答率	84.62%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.91	半期15-19回 通年20-24回	半期12-16回 通年25-29回	半期9-11回 通年18-14回	半期6-8回 通年12-6回	半期3回以下 通年7回以下	11	0
			90.91%	9.09%	0.00%	0.00%	0.00%		
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.09	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	11	0
			18.18%	27.27%	27.27%	0.00%	27.27%		
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	5.00	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	11	0
			100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%		

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	5.00	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	11	0
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.91	90.91%	9.09%	0.00%	0.00%	0.00%	11	0
6	レッスンを通じて、演奏技術は上進しましたか	4.82	90.91%	0.00%	9.09%	0.00%	0.00%	11	0
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	5.00	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	11	0
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	5.00	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	11	0
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.64	54.55%	0.00%	18.18%	9.09%	18.18%	11	0
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.91	63.64%	9.09%	0.00%	9.09%	18.18%	11	0

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	5.00	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	11	0



2022-06-15版

2021 年度 後期
授業に関するアンケート

区分別集計結果表

学部-講義

学部-レッスン

大学院-レッスン

大学院-講義

洗足学園音楽大学・大学院

2022-06-15版

2021年度後期（遠隔授業用）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

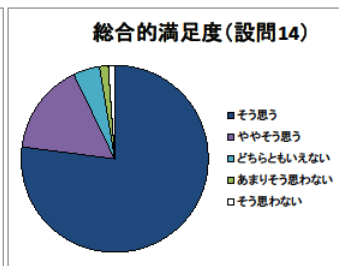
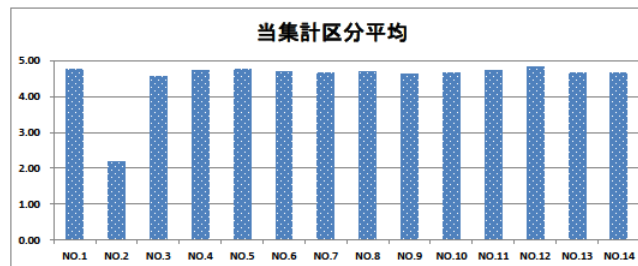
集計区分 学部-大学講義

履修者数	20727
回答数	5394
回答率	26.02%

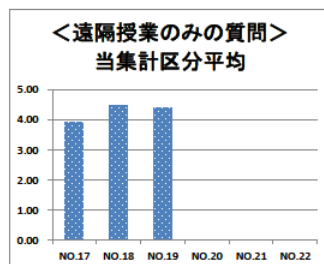
あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.76	半期15-13回 通年30-25回 83.54%	半期12-10回 通年25-20回 12.33%	半期9-7回 通年18-14回 2.22%	半期6-4回 通年13-9回 0.80%	半期3回以下 通年7回以下 1.11%	5394	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	2.18	4時間以上 9.73%	3-4時間 6.28%	2-3時間 13.98%	1-2時間 32.24%	1時間未満 37.76%	5394	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.56	そう思う 68.26%	ややそう思う 22.84%	どちらとも いえない 6.64%	あまりそう 思わない 1.61%	そう思わない 0.65%	5394	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.74	80.98%	13.45%	4.36%	0.73%	0.48%	4773	621
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.77	83.86%	11.49%	3.02%	1.01%	0.63%	4770	624
6	教員の声や話し方は明瞭でわかりやすかったですか	4.70	80.68%	12.36%	4.62%	1.14%	1.20%	4757	637
7	板書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.67	78.80%	12.64%	6.23%	1.31%	1.02%	4722	672
8	授業に集中できるよう配慮をされていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.69	78.93%	13.25%	6.05%	0.95%	0.82%	4731	663
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.62	75.99%	13.98%	7.47%	1.44%	1.12%	4714	680
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.68	78.51%	14.26%	4.60%	1.53%	1.09%	4756	638
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.75	82.72%	11.65%	3.71%	1.33%	0.59%	4739	655
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.84	88.76%	8.04%	2.07%	0.63%	0.51%	4740	654
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.66	77.92%	14.62%	4.65%	1.64%	1.18%	4755	639

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.66	77.03%	15.81%	4.54%	1.50%	1.11%	5394	0



授業科目について:遠隔授業のみの設問		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	3.93	39.83%	14.91%	43.22%	2.04%	0.00%	4072	1322
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.47	59.49%	31.92%	4.47%	4.11%	0.00%	827	4567
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.41	55.86%	32.92%	7.15%	4.07%	0.00%	811	4583



2022-06-15版

2021年度後期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

集計区分 学部-レッスン全体

履修者数	4139
回答数	958
回答率	23.15%

あなた自身について

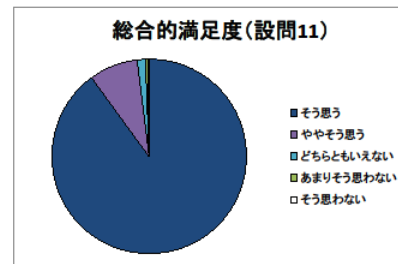
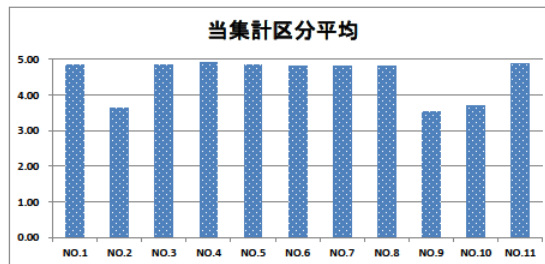
NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.85	半期15-13回 通年30-28回 88.00%	半期12-10回 通年25-20回 10.02%	半期9-7回 通年19-14回 1.25%	半期6-4回 通年13-9回 0.42%	半期3回以下 通年7回以下 0.31%	958	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.63	4時間以上 38.20%	3-4時間 16.91%	2-3時間 20.15%	1-2時間 19.21%	1時間未満 5.53%	958	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.84	そう思う 86.12%	ややそう思う 11.90%	どちらとも いえない 1.88%	あまりそう 思わない 0.00%	そう思わない 0.10%	958	0

授業科目について

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.92	そう思う 93.94%	ややそう思う 4.81%	どちらとも いえない 1.03%	あまりそう 思わない 0.11%	そう思わない 0.11%	874	84
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.84	そう思う 87.86%	ややそう思う 9.25%	どちらとも いえない 2.20%	あまりそう 思わない 0.35%	そう思わない 0.35%	865	93
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.80	そう思う 84.13%	ややそう思う 12.17%	どちらとも いえない 3.24%	あまりそう 思わない 0.23%	そう思わない 0.23%	863	95
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.81	そう思う 84.01%	ややそう思う 13.33%	どちらとも いえない 2.20%	あまりそう 思わない 0.23%	そう思わない 0.23%	863	95
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.81	そう思う 85.85%	ややそう思う 10.09%	どちらとも いえない 2.90%	あまりそう 思わない 1.16%	そう思わない 0.00%	862	96
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.52	そう思う 37.43%	ややそう思う 14.97%	どちらとも いえない 22.69%	あまりそう 思わない 11.70%	そう思わない 13.22%	855	103
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.70	そう思う 46.80%	ややそう思う 12.81%	どちらとも いえない 17.00%	あまりそう 思わない 10.71%	そう思わない 12.69%	859	99

授業の評価

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.87	そう思う 89.98%	ややそう思う 8.04%	どちらとも いえない 1.36%	あまりそう 思わない 0.42%	そう思わない 0.21%	958	0



2022-06-15版

2021年度後期（遠隔授業用）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

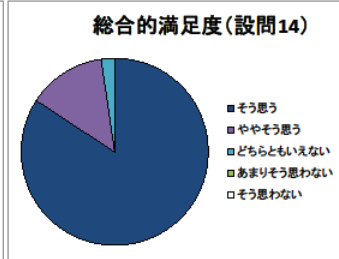
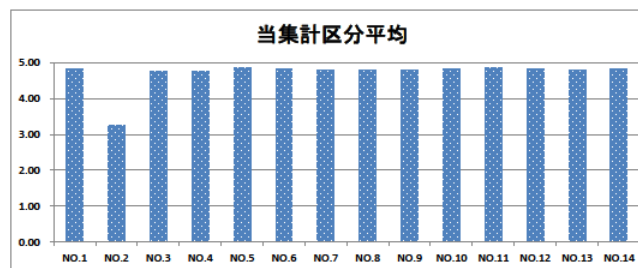
集計区分 大学院-講義

履修者数	671
回答数	216
回答率	32.19%

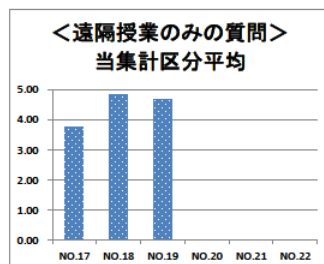
あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.82	半期15-13回 通年30-28回	半期12-10回 通年25-20回	半期9-7回 通年18-14回	半期6-4回 通年13-9回	半期3回以下 通年10回以下	216	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.25	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	216	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.77	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	216	0

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.77	80.84%	16.82%	1.40%	0.00%	0.93%	214	2
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.85	86.92%	11.21%	1.87%	0.00%	0.00%	214	2
6	教員の声や話し方は明瞭でわかりやすかったですか	4.82	84.19%	13.95%	1.86%	0.00%	0.00%	215	1
7	板書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.80	81.86%	16.28%	1.86%	0.00%	0.00%	215	1
8	授業に集中できるように配慮をされていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.80	84.51%	11.74%	3.29%	0.47%	0.00%	213	3
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.79	81.31%	16.36%	2.34%	0.00%	0.00%	214	2
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.84	85.92%	12.21%	1.88%	0.00%	0.00%	213	3
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.84	84.91%	14.62%	0.47%	0.00%	0.00%	212	4
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.83	84.51%	14.08%	1.41%	0.00%	0.00%	213	3
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.77	79.81%	18.31%	1.41%	0.47%	0.00%	213	3

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.82	84.26%	13.43%	2.31%	0.00%	0.00%	216	0



授業科目について:遠隔授業のみの設問		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	3.76	32.50%	11.00%	56.00%	0.50%	0.00%	200	16
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.82	85.29%	11.76%	2.94%	0.00%	0.00%	34	182
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.68	78.38%	13.51%	5.41%	2.70%	0.00%	37	179



2022-06-15版

2021年度後期 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

集計区分 大学院-レッスン全体

履修者数	319
回答数	80
回答率	25.08%

あなた自身について

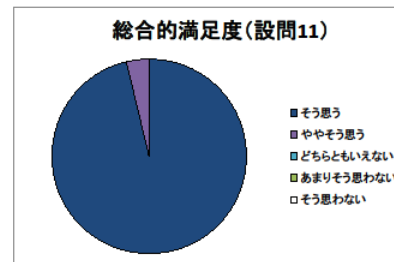
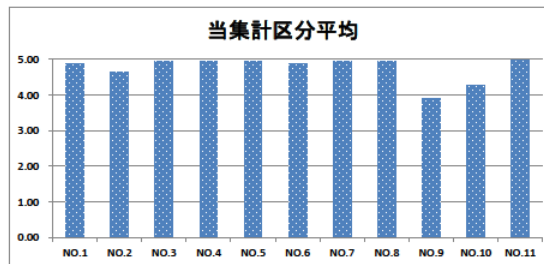
NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.88	半期15-18回 通年30-28回 88.75%	半期12-10回 通年25-20回 10.00%	半期9-7回 通年18-14回 1.25%	半期6-4回 通年13-9回 0.00%	半期3回以下 通年7回以下 0.00%	80	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	4.65	4時間以上 80.00%	3-4時間 7.50%	2-3時間 10.00%	1-2時間 2.50%	1時間未満 0.00%	80	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.94	そう思う 93.75%	ややそう思う 6.25%	どちらとも いえない 0.00%	あまりそう 思わない 0.00%	そう思わない 0.00%	80	0

授業科目について

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.95	そう思う 95.00%	ややそう思う 5.00%	どちらとも いえない 0.00%	あまりそう 思わない 0.00%	そう思わない 0.00%	80	0
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.94	93.67%	6.33%	0.00%	0.00%	0.00%	79	1
6	レッスンを通じて、演奏技術は上進しましたか	4.89	90.00%	8.75%	1.25%	0.00%	0.00%	80	0
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.95	95.00%	5.00%	0.00%	0.00%	0.00%	80	0
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.95	94.94%	5.06%	0.00%	0.00%	0.00%	79	1
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.91	56.25%	6.25%	20.00%	7.50%	10.00%	80	0
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	4.26	67.50%	10.00%	6.25%	13.75%	2.50%	80	0

授業の評価

NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.96	96.25%	3.75%	0.00%	0.00%	0.00%	80	0



資料 4 : 卒業時満足度調査結果

2021年度 卒業時満足度調査

洗足学園音楽大学

1

調査概要

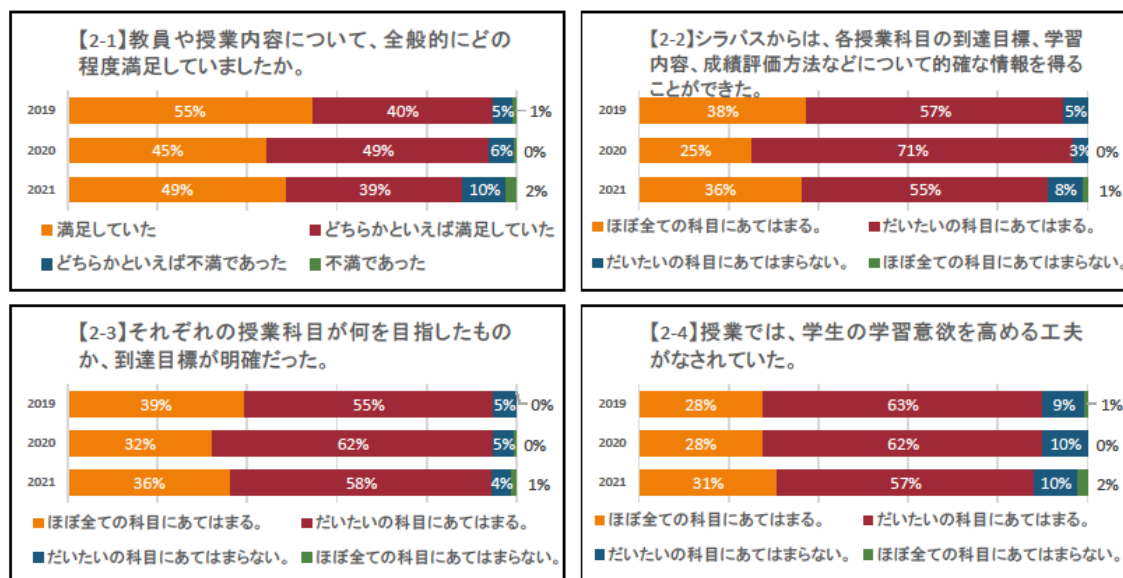
調査目的	学生の率直な意見を聞くことにより、学生生活の実態や考えを把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる
調査方法	SENZOKUポータル・アンケート機能による
対象	2022年3月卒業予定の音楽学部4年生（全コース）
調査時期	2022年1月12日(水)～3月11日(金)
所要時間	10分弱
質問数	20問
調査項目	教員・授業内容 / 大学事務局 / 設備・施設 / 学生生活を振り返って

2

回答率		在籍者数	回答者数	2019年度	2020年度	2021年度
作曲	CO	3	2	25%	100%	67%
音楽・音響デザイン	SC	65	21	38%	37%	32%
ピアノ	PF	40	19	49%	20%	48%
管楽器	WI	96	31	26%	29%	32%
弦楽器	SI	13	8	60%	29%	62%
打楽器	PI	15	6	41%	44%	40%
電子オルガン	EO	10	5	50%	67%	50%
ジャズ	JZ	26	10	26%	59%	38%
現代邦楽	GH	1	0	100%	—	0%
ロック&ポップス	RP	33	13	20%	41%	39%
声楽	VO	25	6	36%	47%	24%
ミュージカル	MS	73	17	24%	54%	23%
バレエ	BL	38	14	38%	41%	37%
ダンス	DC	18	4	—	—	22%
声優アニメソング	AS	41	11	16%	37%	27%
音楽教育	ME	9	4	44%	43%	44%
コース名未回答	—	—	13	—	—	—
合計		506	184	32%	39%	36%

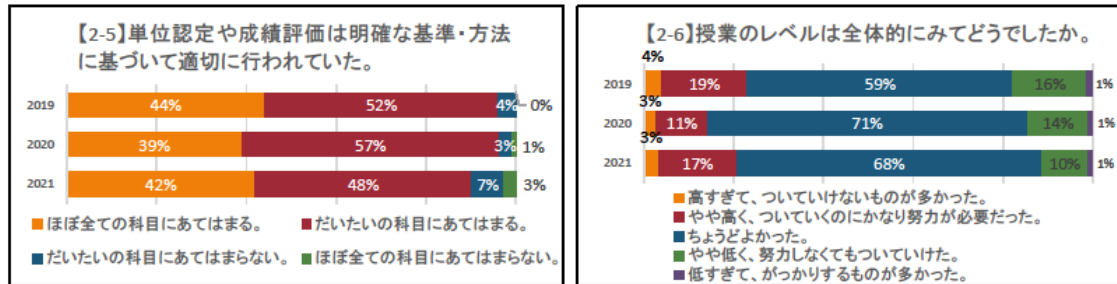
3

【教員や授業についての満足度】

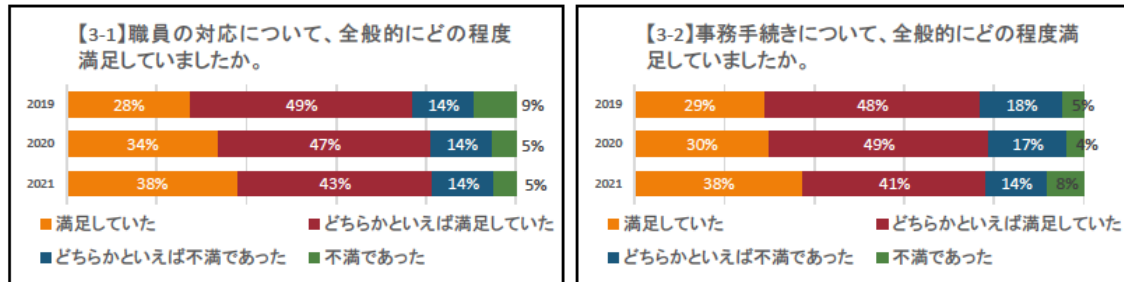


4

【教員や授業についての満足度】

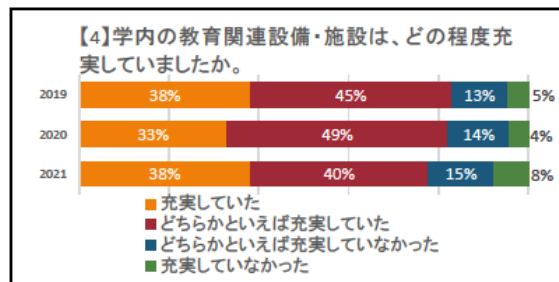


【大学事務局についての満足度】

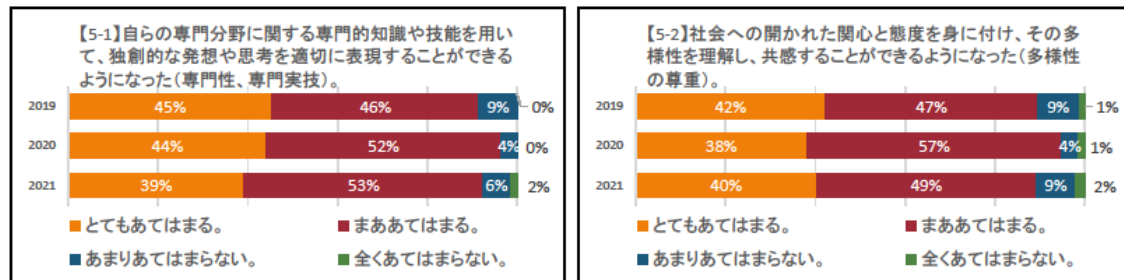


5

【施設・設備についての満足度】



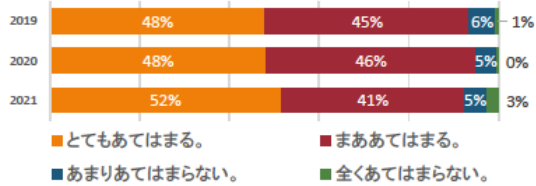
【4年間の学修成果】



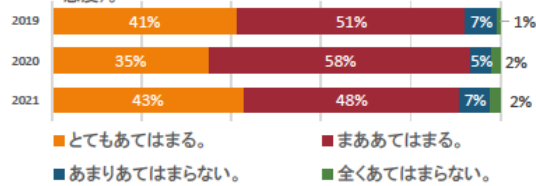
6

【4年間の学修成果】

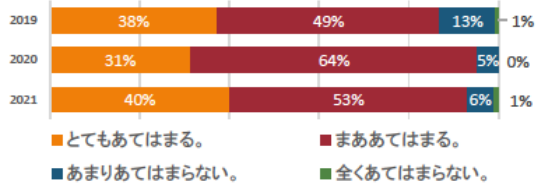
【5-3】自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができるようになった(協働する力)。



【5-4】自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度が身に付いた(社会貢献・実践的態度)。



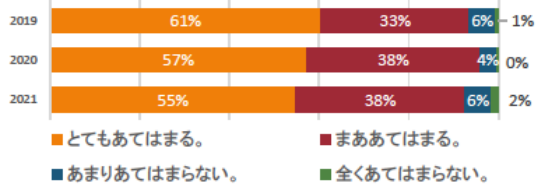
【5-5】論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができるようになった(論理的思考力・問題解決力)。



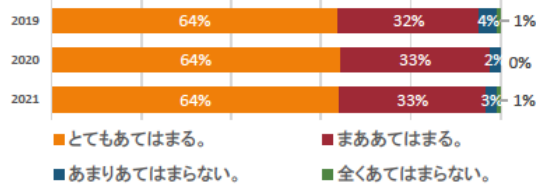
7

【大学生生活全般】

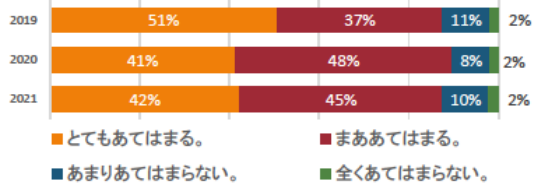
【6-1】洗足学園音楽大学を卒業できて良かった。



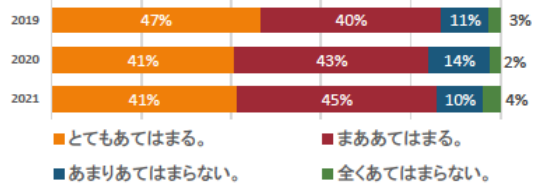
【6-2】自らが所属したコースで学んだ意義があった。



【6-3】洗足学園音楽大学を卒業できることを誇らしく思っている。



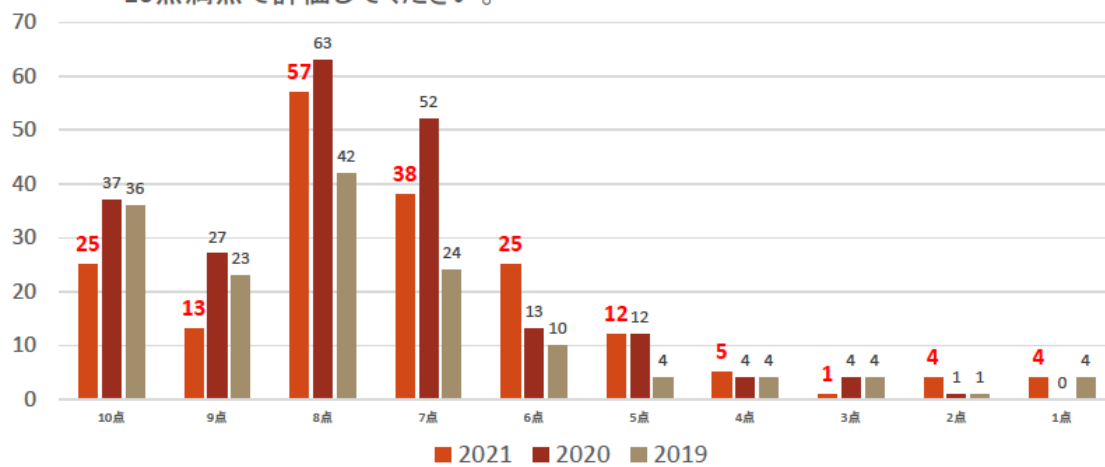
【6-4】洗足学園音楽大学に愛着を持っている。



8

【大学生活全般】

【6-5】本学における、あなたの4年間の学生生活の総合的な満足度を10点満点で評価してください。



資料5：修了時満足度調査結果

2021年度 修了時満足度調査

洗足学園音楽大学大学院

1

調査概要

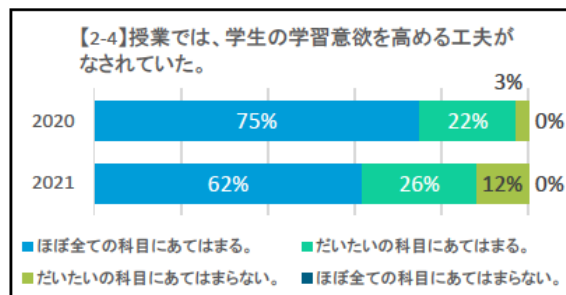
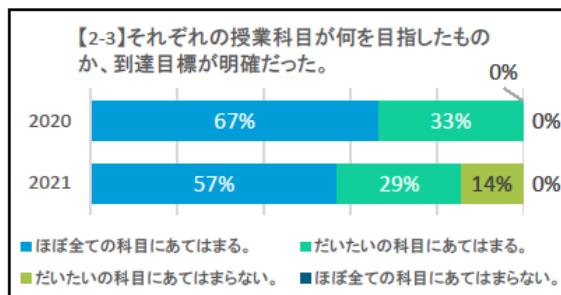
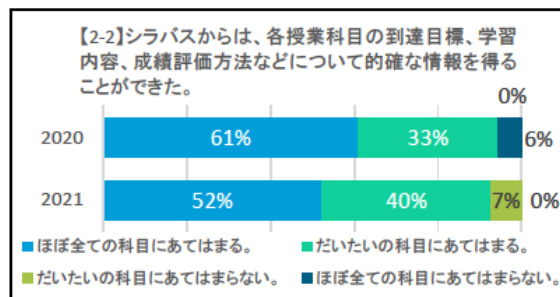
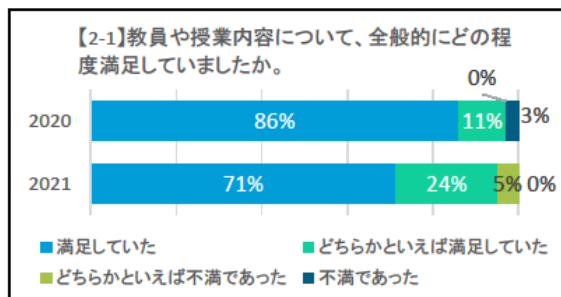
調査目的	学生の率直な意見を聞くことにより、学生生活の実態や考えを把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる
調査方法	SENZOKUポータル・アンケート機能による
対象	2022年3月修了予定の大学院2年生（全コース）
調査時期	2022年1月12日(水)～3月11日(金)
所要時間	10分弱
質問数	21問
調査項目	教員・授業内容 / 大学事務局 / 設備・施設 / 学生生活を振り返って

2

回答率		在籍者数	回答者数	2020年度	2021年度
作曲	CO	1	0	100%	0%
音楽・音響デザイン	SC	25	12	62%	48%
ピアノ	PF	6	2	25%	33%
管楽器	WI	7	5	50%	71%
弦楽器	SI	7	2	67%	29%
電子オルガン	EO	10	5	100%	50%
現代邦楽	WA	1	0	100%	0%
声楽	VO	10	5	20%	50%
音楽教育学	MP	6	6	100%	100%
コース名未回答	-	-	5	-	-
合計		73	36	55%	49%

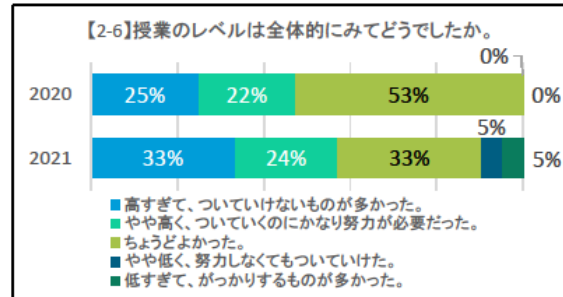
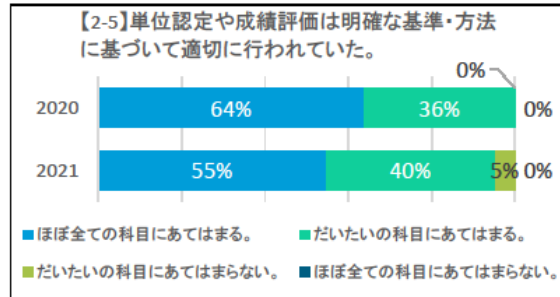
3

【教員や授業についての満足度】

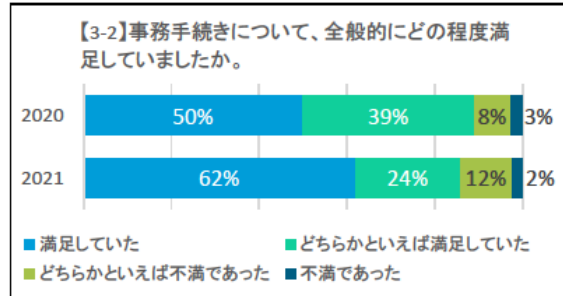
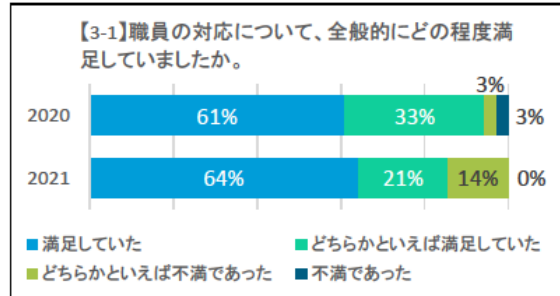


4

【教員や授業についての満足度】

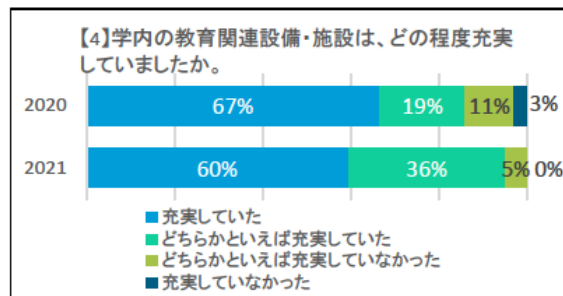


【大学事務局についての満足度】

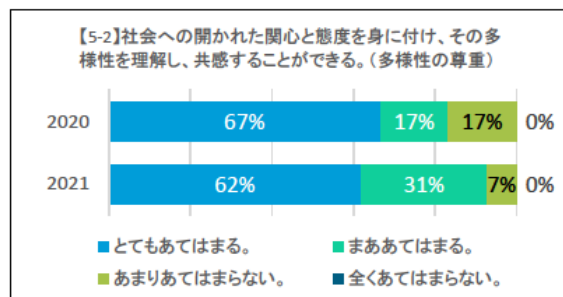
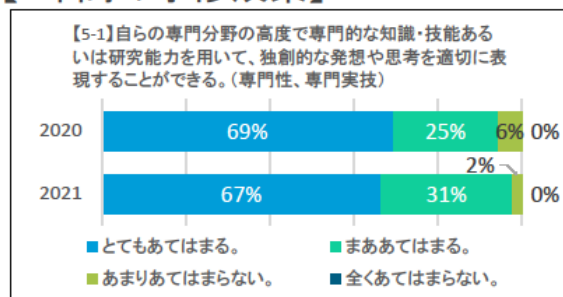


5

【施設・設備についての満足度】

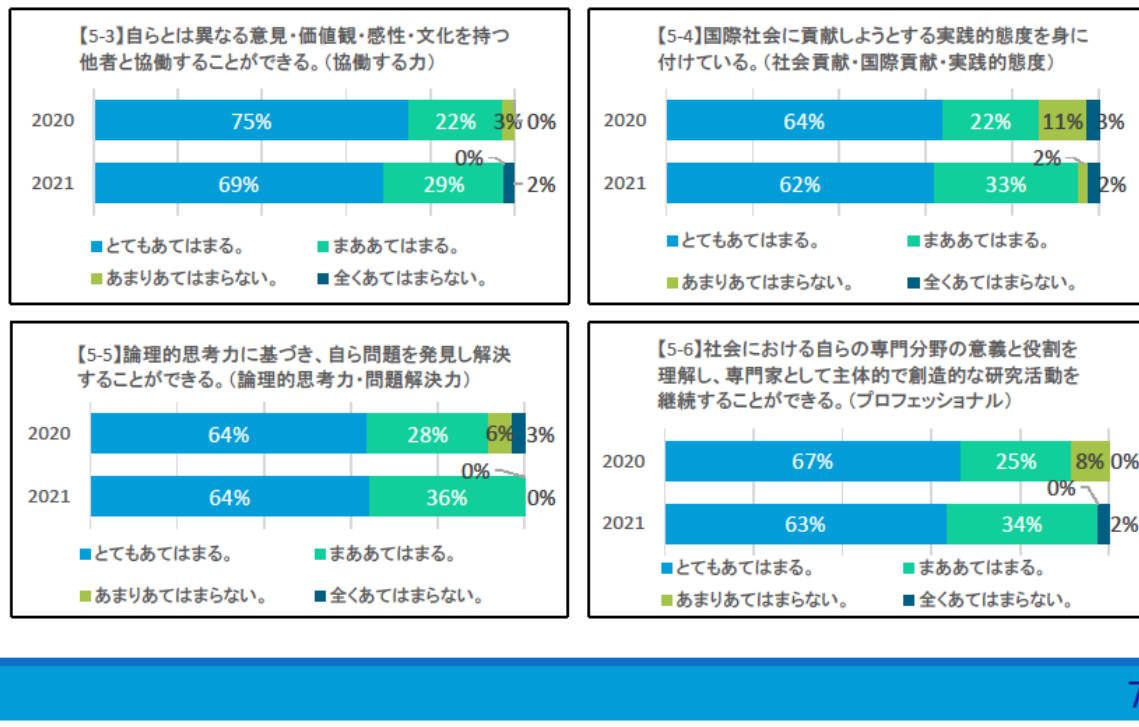


【2年間の学修成果】

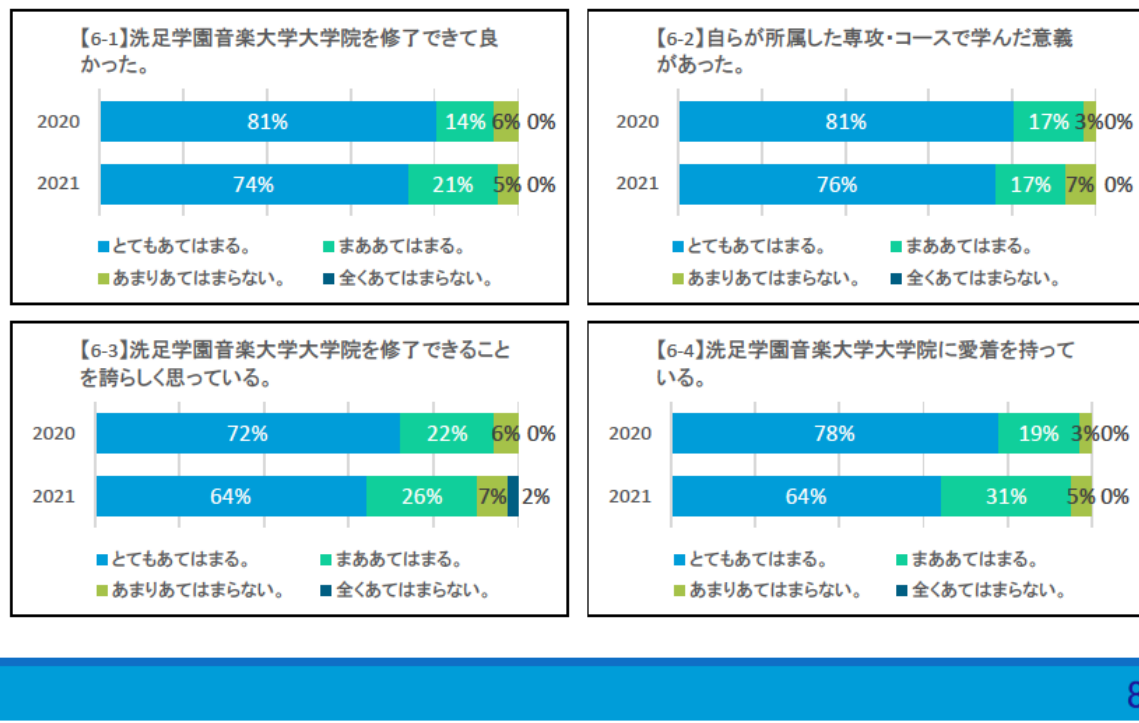


6

【2年間の学修成果】



【大学生生活全般】



【大学生活全般】

【6-5】本学における、あなたの2年間の大学院生生活の総合的な満足度を10点満点で評価してください。

